

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2012年7月5日(05.07.2012)



(10) 国際公開番号

WO 2012/091107 A1

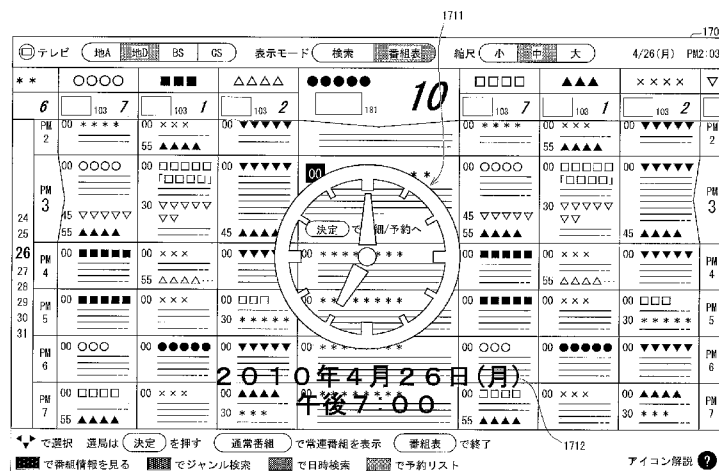
- (51) 国際特許分類:
H04N 7/173 (2011.01) H04N 5/445 (2011.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2011/080443
- (22) 国際出願日: 2011年12月28日(28.12.2011)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2010-294118 2010年12月28日(28.12.2010) JP
特願 2011-249941 2011年11月15日(15.11.2011) JP
特願 2011-285815 2011年12月27日(27.12.2011) JP
- (71) 出願人(米国を除く全ての指定国について):
シャープ株式会社(SHARP KABUSHIKI KAISHA)
[JP/JP]; 〒5458522 大阪府大阪市阿倍野区長池町
2番2号 Osaka (JP).
- (72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人(米国についてののみ): 大井 祐治
(OHI, Yuhji). 峯原 彩(MINEHARA, Aya). 寺島
愛(TERASHIMA, Ai). 大西 義憲(OONISHI,
Yoshinori). 藤本 欣也(FUJIMOTO, Kinya). 大村
嘉紀(OHMURA, Yoshinori). 渡邊 龍輔
(WATANABE, Ryuhsuke). 廣田 亨(HIROTA, Toru).
佐藤 啓一郎(SATO, Keiichiro). 西面 弓子(SAI-
MEN, Yumiko). 伊藤 彰彦(ITO, Akihiko).
- (74) 代理人: 特許業務法人原謙三国際特許事務所
(HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK);
〒5300041 大阪府大阪市北区天神橋2丁目北2
番6号 大和南森町ビル Osaka (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,
BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO,
CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI,
GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS,
KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT,
LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY,
MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA,
RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV,
SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC,
VN, ZA, ZM, ZW.

[続葉有]

(54) Title: ELECTRONIC LINEUP DISPLAY DEVICE, TELEVISION RECEIVER, METHOD OF CONTROLLING ELECTRONIC LINEUP DISPLAY DEVICE, CONTROL PROGRAM FOR ELECTRONIC LINEUP DISPLAY DEVICE AND COMPUTER READABLE RECORDING MEDIUM RECORDING THE PROGRAM

(54) 発明の名称: 電子番組表表示装置、テレビジョン受像機、電子番組表表示装置の制御方法、電子番組表表示装置制御プログラムおよび該プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【図17】



(57) Abstract: A television device (1) is provided with a display control unit (3), which displays time on a display unit after an electronic program guide processing unit (6) has started scrolling an electronic program guide, while displaying from the above-mentioned electronic program guide the portion corresponding to the time displayed when the scrolling was suspended after the suspension of scrolling.

(57) 要約: テレビ装置(1)は、電子番組表処理部(6)が電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示するとともに、スクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、スクロールを停止した時点で表示していた時刻に対応する部分を表示する表示制御部(3)を備えている。

1712 April 26 (Mon), 2010 7:00 p.m.

WO 2012/091107 A1



(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK,

SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称：

電子番組表表示装置、テレビジョン受像機、電子番組表表示装置の制御方法、電子番組表表示装置制御プログラムおよび該プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

技術分野

[0001] 本発明は、情報を表示する装置、特に電子番組表を表示する電子番組表表示装置、テレビジョン受像機、電子番組表表示装置の制御方法、電子番組表表示装置制御プログラムおよび該プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関するものである。

背景技術

[0002] 従来から、テレビ放送におけるデジタル放送では、番組だけでなく番組案内情報が伝送されており、表示装置は、この番組案内情報を用いて電子番組表（EPG）を表示している。電子番組表は、例えば、縦軸を時間軸、横軸をチャンネル番号軸として、複数の番組案内情報が、マトリックス状に形成されているものである。

[0003] そして、特許文献1には、電子番組表の時間軸を変化させて表示させるときに、電子番組表の時間表示を、アナログ時計形式で行う技術が開示されている。

[0004] また、特許文献2には、アナログ時計形式で表示された時計を用いて、電子番組表で表示する時間帯を設定する技術が開示されている。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献1：日本国公開特許公報「特開2002-320166号公報（2002年10月31日公開）」

特許文献2：日本国公開特許公報「特開平10-276378号公報（1998年10月13日公開）」

発明の概要

発明が解決しようとする課題

- [0006] しかしながら、上述した従来の構成では、電子番組表を時間軸方向にスクロールさせているときに、スクロールを停止したら電子番組表のどの部分が画面に表示されるのかを、ユーザが認識し難いという問題があった。
- [0007] 特許文献 1 に記載された技術は、電子番組表の時間表示をアナログ時計形式にただけであり、アナログ時計形式で表示された時間表示は電子番組表とともにスクロールされる。したがって、特許文献 1 に記載の技術では、上述した問題を解決することができない。
- [0008] また、特許文献 2 に記載の技術は、電子番組表のどの部分を画面に表示するかを設定するために時計を用いるというものであり、電子番組表をスクロールさせたときに、現在、電子番組表のどの部分が画面に表示されているのかをユーザに知らせ得るものではない。
- [0009] 本発明は、上記の問題点に鑑みてなされたものであり、その目的は、電子番組表を時間軸方向にスクロールさせているときに、スクロールを停止したら電子番組表のどの部分が画面に表示されるのかを、ユーザが容易に認識できる電子番組表表示装置等を実現することにある。

課題を解決するための手段

- [0010] 上記課題を解決するために、本発明に係る電子番組表表示装置は、一方の軸を時間軸とし、他方の軸をチャンネル番号軸としてマトリックス表示された電子番組表を表示する電子番組表表示装置であって、上記電子番組表を時間軸方向にスクロールする指示を受け付けるスクロール受付手段と、上記スクロール受付手段がスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表を時間軸方向にスクロールするスクロール手段と、上記スクロール手段が上記電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示する時刻表示制御手段と、上記スクロール手段がスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御手段が表示していた時刻に対応する部分を表示する電子番組表表示制御手

段と、を備えていることを特徴としている。

[0011] また、本発明に係る電子番組表表示装置の制御方法は、一方の軸を時間軸とし、他方の軸をチャンネル番号軸としてマトリックス表示された電子番組表を表示する電子番組表表示装置の制御方法であって、上記電子番組表を時間軸方向にスクロールする指示を受け付けるスクロール受付ステップと、上記スクロール受付ステップでスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表を時間軸方向にスクロールするスクロールステップと、上記スクロールステップで上記電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示する時刻表示制御ステップと、上記スクロールステップでスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロールステップでスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御ステップで表示していた時刻に対応する部分を表示する電子番組表表示制御ステップと、を含むことを特徴としている。

[0012] 上記の構成または方法によれば、電子番組表を時間軸方向にスクロールしている間、表示部に時刻が表示される。そして、スクロールを停止すると、電子番組表のうち、スクロールを停止したときに表示されていた時刻に対応する部分が表示部に表示される。

[0013] よって、ユーザは、電子番組表をスクロールしている間、画面に表示された時刻を確認することによって、スクロールを停止したら電子番組表のどの部分が画面に表示されるかを、容易に認識することができる。よって、電子番組表の操作性・利便性が向上する。

[0014] なお、上記電子番組表表示装置は、コンピュータによって実現してもよく、この場合には、コンピュータを上記各手段として動作させることにより上記電子番組表表示装置をコンピュータにて実現させる電子番組表表示装置の制御プログラム、およびそれを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体も、本発明の範疇に入る。

発明の効果

[0015] 以上のように、本発明に係る電子番組表表示装置は、電子番組表を時間軸

方向にスクロールする指示を受け付けるスクロール受付手段と、上記スクロール受付手段がスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表を時間軸方向にスクロールするスクロール手段と、上記スクロール手段が上記電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示する時刻表示制御手段と、上記スクロール手段がスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御手段が表示していた時刻に対応する部分を表示する電子番組表表示制御手段と、を備えている構成である。

[0016] また、本発明に係る電子番組表表示装置の制御方法は、電子番組表を時間軸方向にスクロールする指示を受け付けるスクロール受付ステップと、上記スクロール受付ステップでスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表を時間軸方向にスクロールするスクロールステップと、上記スクロールステップで上記電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示する時刻表示制御ステップと、上記スクロールステップでスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロールステップでスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御ステップで表示していた時刻に対応する部分を表示する電子番組表表示制御ステップと、を含む方法で有る。

[0017] これにより、ユーザは、電子番組表をスクロールしている間、画面に表示された時刻を確認することによって、スクロールを停止したら電子番組表のどの部分が画面に表示されるかを、容易に認識することができるという効果を奏する。よって、電子番組表の操作性・利便性が向上するという効果を奏する。

図面の簡単な説明

[0018] [図1]本発明の実施の形態を示すものであり、テレビ装置の要部構成を示すブロック図である。

[図2]上記テレビ装置における、スクロールボタンが押下し続けられたときのスクロール処理の流れを示すフローチャートである。

[図3]上記テレビ装置における、1回だけスクロールボタンが押下されたとき

の処理の流れを示すフローチャートである。

[図4]上記スクロール処理における、高速スクロール処理の流れを示すフローチャートである。

[図5]電子番組表の表示画面例を示す図である。

[図6]スクロールボタンが押下されたときの電子番組表の表示画面例を示す図である。

[図7]図5に示す状態から、さらにスクロールボタンが押下されたときの電子番組表の表示画面例を示す図である。

[図8]図7に示す状態からさらにスクロールボタンが押下されたときの電子番組表の表示画面例を示す図である。

[図9]電子番組表を高速スクロールしたときの表示画面例を示す図である。

[図10]電子番組表を高速スクロールしたときの表示画面例を示す図である。

[図11]時間表示アイコンをデジタル時計形式とした場合を示す図である。

[図12]日付アイコンを表示した表示画面例を示す図である。

[図13]番組のジャンルに応じて色分けした電子番組表を示す図である。

[図14]日付毎にタブ形式で表示される電子番組表を示す図である。

[図15]高速スクロール中に、電子番組表の時間軸およびチャンネル番号軸のみ残し、残りを空白状態にした図である。

[図16]時間表示アイコンをアナログ時計形式およびデジタル時計形式の両方とした場合を示す図である。

[図17]時間表示アイコンをアナログ時計形式およびデジタル時計形式の両方とし、さらに日付を表示した場合を示す図である。

[図18]時間表示アイコンをアナログ時計形式とし、時計領域の色を午前と午後とで変更する例を説明するための図である。

[図19]表示している時間帯を示すイメージを説明するための図である。

[図20]表示している時間帯を示すイメージを説明するための図である。

[図21]日付をスライドバーで表示する例を示す図である。

[図22]日付を領域で表示する例を示す図である。

[図23]本発明のさらなる実施の形態における高速スクロール処理の流れを示すフローチャートである。

[図24]チャンネル軸方向にスクロールボタンが押下された場合の電子番組表を説明するための図である。

[図25]チャンネル軸方向にスクロールボタンが押下された場合の電子番組表を説明するための図である。

[図26]チャンネル軸方向にスクロールボタンが押下された場合の電子番組表を説明するための図である。

[図27]チャンネル軸方向の高速スクロールにおいて、チャンネル情報を表示する例を示す図である。

[図28]チャンネル軸方向の高速スクロールにおいて、チャンネル情報を表示する例を示す図である。

[図29]チャンネル軸方向の高速スクロールにおいて、チャンネル情報を表示する例を示す図である。

[図30]チャンネル軸方向の高速スクロールにおいて、チャンネル情報を表示する例を示す図である。

[図31]チャンネル軸方向の高速スクロールにおいて、チャンネル情報を表示する例を示す図である。

[図32]チャンネル軸方向の高速スクロールにおいて、チャンネル情報を表示する例を示す図である。

[図33]チャンネル軸方向の高速スクロールにおいて、チャンネル情報を表示する例を示す図である。

[図34]高速スクロール中に、予約識別情報を表示する例を示す図である。

[図35]高速スクロール中に、予約識別情報を表示する例を示す図である。

[図36]高速スクロール中に、予約識別情報を表示する例を示す図である。

[図37]高速スクロール中に、予約識別情報を表示する例を示す図である。

[図38]高速スクロール中に、予約識別情報を表示する例を示す図である。

[図39]高速スクロール中に、予約識別情報を表示する例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0019] 〔実施の形態１〕

本発明の一実施の形態について図１から図１５に基づいて説明すれば、以下のとおりである。本実施の形態に係るテレビ装置１は、受信した番組情報を用いて電子番組表（ＥＰＧ）を作成し、表示するものである。そして、表示した電子番組表を高速でスクロールしたときであっても、使い勝手がよく、ユーザの所望の時間の電子番組表を的確に表示できるものである。

[0020] （テレビ装置１の要部構成）

まず、図１を用いて本実施の形態に係るテレビ装置１の要部構成について説明する。図１は、テレビ装置１の要部構成を示すブロック図である。図１に示すように、テレビ装置１は、受信部２、表示制御部（時刻表示制御手段、電子番組表表示制御手段、チャンネル表示制御手段）３、表示部４、番組情報記憶部５、電子番組表処理部（スクロール受付手段、スクロール手段）６、およびリモコン受光部７を含む構成である。また、電子番組表処理部６は、押下時間判定部１１、および高速スクロール処理部（スクロール手段）１２を含む構成である。なお、テレビ装置１においてテレビ放送を受信し、表示する機能については、公知の技術を用いて可能であり、その説明は省略する。

[0021] また、テレビ装置１に含まれる各ブロックのうち、表示制御部３、表示部４、番組情報記憶部５、および電子番組表処理部６により電子番組表表示装置が構成される。

[0022] 受信部２は、アンテナ８を介して、テレビ放送および番組情報を受信するものである。受信部２は、受信したテレビ放送に対し、受信処理を行った後、表示制御部３に送信する。また、受信した番組情報については、番組情報記憶部５に格納する。

[0023] 表示制御部３は、受信部２から取得したテレビ放送や、電子番組表処理部６から取得した電子番組表、および電子番組表に対する処理結果を、表示部４に表示させるものである。

- [0024] 表示部 4 は、表示制御部 3 の制御により、テレビ放送や電子番組表を表示する表示デバイスである。表示部 4 の例としては、液晶ディスプレイ、有機 EL (Electro Luminescence) ディスプレイ、プラズマディスプレイ等が挙げられる。
- [0025] 番組情報記憶部 5 は、受信部 2 が受信した番組情報を記憶しているものである。番組情報の内容としては、番組内容、放送時間、放送局、出演者、番組のカテゴリ等が挙げられる。
- [0026] 電子番組表処理部 6 は、番組情報記憶部 5 に記憶されている番組情報を用いて電子番組表を作成し、表示制御部 3 に送信するものである。電子番組表の例としては、縦を時間軸、横をチャンネル番号軸としたマトリクス表示の番組表を挙げることができる。また、電子番組表処理部 6 は、押下時間判定部 11 および高速スクロール処理部 12 を含み、リモコン受光部 7 で受光したリモコンからの信号に基づいて、電子番組表に対する処理を行い、処理結果を表示制御部 3 に送信するものである。
- [0027] 押下時間判定部 11 は、リモコン受光部 7 で受信した信号から、リモコン 10 の特定のボタン、具体的には電子番組表をスクロールするボタンが所定時間以上、押下されているか否かを判定するものである。そして、押下時間判定部 11 は、上記ボタンが所定時間以上、押下されていると判定すると、その旨を高速スクロール処理部 12 へ通知する。
- [0028] 高速スクロール処理部 12 は、押下時間判定部 11 から、電子番組表をスクロールするボタンが所定時間以上、押下されているとの通知を取得すると、電子番組表のスクロールを高速スクロールで実行するものである。ここで、高速スクロールとは、電子番組表のスクロールを 1 番組ごとではなく、所定の範囲ごとにスクロールすることを言う。高速スクロールにおける具体的な処理、およびそのときに表示される画面例については後述する。
- [0029] リモコン受光部 7 は、リモコン 10 からの信号を受信し、その内容を電子番組表処理部 6 に送信するものである。
- [0030] (テレビ装置 1 におけるスクロール処理の流れ)

次に、図2～10を用いて、テレビ装置1における電子番組表のスクロール処理の流れについて説明する。図2、3、4は、テレビ装置1における電子番組表のスクロール処理の流れを示すフローチャートである。より詳細には、図2は、電子番組表を表示中に、リモコン受光部7で、リモコン10から、電子番組表を時間方向にスクロールさせるボタン（スクロールボタン）が押下されていることを示す信号を受信し続けたときの処理の流れを示すフローチャートである。

[0031] また、図3は、電子番組表を表示中に、リモコン受光部7で、リモコン10から、電子番組表を時間方向にスクロールさせるスクロールボタンが押下されていることを示す信号を1回だけ受信したときの処理の流れを示すフローチャートである。また、図4は、高速スクロール処理を実行するときの処理の流れを示すフローチャートである。

[0032] まず、スクロールボタンが1回だけ押下された場合のカーソル移動およびスクロールの動作を説明する。図3に示すように、テレビ装置1の電子番組表処理部6は、電子番組表を表示中に、リモコン受光部7で、リモコン10から、電子番組表を時間方向にスクロールさせるボタン（スクロールボタン）が押下されていることを示す信号を受信すると（スクロール受付ステップ）、電子番組表におけるカーソル位置（番組枠の強調表示）が電子番組表の下端にあるか否かを判定する（S5）。カーソル位置が電子番組表の下端にない場合（S5でNO）、電子番組表におけるカーソル位置を下に移動させる（S1）。

[0033] 一方、カーソル位置が電子番組表の下端にある場合（S5でYES）、通常スクロールを行う（S2、スクロールステップ）。ここで、通常スクロールとは、電子番組表を所定の時間毎に順次ずらして表示していくことをいう。

[0034] 図5～8を用いて、カーソル位置の移動について具体的に説明する。図5～8は、スクロールボタンが押下されたときの電子番組表におけるカーソル位置を示す表示画面例を示す図である。まず、電子番組表が表示されたとき

は、図5の表示画面例401に示すように、現在時刻において、選択されている番組の番組枠が強調表示されている。ここでは、現在時刻である午後2時03分に対応する午後2時の10チャンネルの番組枠41が強調表示されている。

[0035] そして、スクロールボタンが押下されていることを示す信号を受け付けると、図6の表示画面例501に示すように強調表示される番組枠が、番組枠41から1番組分、時間方向にずれて、番組枠51となる。さらに、スクロールボタンが押下されていることを受け付けると、強調表示される番組枠は、図7の表示画面例601に示すように、表示されている電子番組表の下端である番組枠61となる。さらに、スクロールボタンが押下されていることを受け付けると通常スクロール処理に入る。図8は、通常スクロール処理で電子番組表が1時間分ずれて表示され、カーソル位置が7時の番組にあることを示している。この後、スクロールボタンを1回押下される毎に通常スクロール処理を繰り返す。

[0036] 次に、スクロールボタンを押下し続ける場合の処理を図2で示す。スクロールボタンが押下されていることを受け付けると、図6の表示画面例501に示すように強調表示される番組枠が、番組枠41から1番組分、時間方向にずれて、番組枠51となる。さらに、スクロールボタンが押下されていることを受け付け続けると、強調表示される番組枠は、図7の表示画面例601に示すように、表示されている電子番組表の下端である番組枠61となる。さらに、スクロールボタンが押下されていることを受け付け続けると図8に示すように通常スクロール処理に入る。

[0037] 通常スクロール処理に入ると、電子番組表処理部6の押下時間判定部11は、通常スクロール処理に入ってからスクロールボタンの押下時間が所定時間以上となったか否かを判定する。ここで、所定時間とは、例えば1秒である。なお、所定時間は、これに限られず、例えば、3秒等、任意に設定できる。

[0038] そして、スクロールボタンの押下時間が所定時間以上になったと判定する

と（Ｓ３でＹＥＳ）、電子番組表処理部６の高速スクロール処理部１２は、電子番組表を高速にスクロールする高速スクロール処理を実行する（Ｓ４、スクロールステップ）。このとき、カーソルは表示されていてもよいし、表示されていなくてもよい。

[0039] 高速スクロール処理の流れについて、図４を用いて説明する。図４に示すように、高速スクロール処理部１２は、まず、時間表示アイコンを電子番組表に重畳して表示する（Ｓ１１）。時間表示アイコンが電子番組表に重畳して表示された画面例を図９に表示画面例７０１として示す。ここでは、時間表示アイコン７１は、アナログ時計形式のアイコンであり、その大きさは、縦が時間枠で３時間分、横が１チャンネル分程度である。なお、時計表示アイコンは、これに限られず、任意の大きさとすることができる。また、表示位置も画面中央に限らず、任意の位置に表示することができる。

[0040] 次に、高速スクロール処理部１２は、強調表示されている番組枠の時間であるカーソル表示時間を変数として設定する（Ｓ１２）。そして、その変数を参照して時間表示アイコンに時間を表示する（Ｓ１３、時刻表示制御ステップ）。図９の表示画面例７０１では、カーソル表示時間が午後７時なので、変数が午後７時に設定され、時間表示アイコン７１は、午後７時を示す表示となる。

[0041] そして、高速スクロール処理部１２は、スクロールボタンの押下時間が所定時間を超える毎に、変数を１時間ずつ更新して、時間表示アイコンに表示させる（Ｓ１４）。なお、変数の更新は１時間ずつに限定されず、任意の時間間隔を設定することができる。

[0042] 図１０に、図９に示す状態から３時間分、高速スクロールが進んだ状態を示す。図１０に示す表示画面例８０１では、時間表示アイコン８１の示す時刻が、時間表示アイコン７１から３時間進んで１０時となった状態を示している。

[0043] その後、スクロールボタンの押下が終了する前に、変数が午前０時となると（Ｓ１５でＮＯ、Ｓ１６でＹＥＳ）、高速スクロール処理部１２は、日付

および曜日を示す日付アイコンを電子番組表に重畳して表示する（S 1 7）。日付アイコンが電子番組表に重畳して表示された画面例を図 1 2 に示す。図 1 2 の表示画面例 1 0 0 1 では、電子番組表の中央部分に日付アイコン 1 0 1 が表示されている。ここでは、日付アイコン 1 0 1 は、2 7 日木曜日であることを示している。また、日付アイコン 1 0 1 の大きさは、縦が時間枠で 3 時間分、横が 3 チャンネル分である。なお、日付アイコンは、これに限られず、任意の大きさとすることができる。また、表示形式も上記形態に限られるものではなく、日付だけを表示するものであってもよいし、月まで表示するものであってもよい。また、表示位置も画面中央に限らず、任意の位置に表示することができる。

[0044] そして、高速スクロール処理部 1 2 は、スクロールボタンの押下が終了したことを受け付けると（S 1 5 で Y E S）、そのときの変数が示す時刻の番組枠が強調表示された電子番組表を表示させる（S 1 8、電子番組表表示制御ステップ）。以上で、テレビ装置 1 におけるスクロール処理が終了する。

[0045] 以上のように、本実施の形態では、スクロールボタンが押下され続けると、まず、番組枠毎に強調表示がずれていく。その後、通常スクロールが実行される。そして、通常スクロール実行後、所定の時間が経過すると、高速スクロールが実行される。

[0046] そして、高速スクロールでは、電子番組表の中央部分にスクロールしている時刻が 1 時間ごとに表示され、スクロールボタンの押下の終了により、終了時点における番組枠が強調表示される。

[0047] これにより、ユーザに対し、高速スクロール中に、スクロールしている時刻を適切かつ容易に認識させることができるとともに、ユーザが目的とする時刻の番組枠を強調表示した電子番組表を表示させることができる。

[0048] （付記事項 1）

上述した実施の形態では、時間表示アイコンがアナログ時計形式の場合を説明したが、時間表示アイコンは、これに限られない。時間表示アイコンは、例えば、デジタル時計形式であってもよい。図 1 1 を用いて説明する。図

11は、時間表示アイコンが、デジタル時計形式の場合を示す。図11の表示画面例901では、時間表示アイコン91が、デジタル時計形式で、電子番組表の中央部分に表示されている。時間表示アイコン91の大きさは、縦が、時間枠で4時間分、横が5チャンネル分である。

[0049] なお、時間表示アイコンは、これに限られず、時間表示できる形式であれば、どのような形式であってもよい。また、時間表示アイコンの大きさは、任意の大きさとすることができる。また、表示位置も画面中央に限らず、任意の位置に表示することができる。

[0050] (付記事項2)

また、電子番組表が、番組枠毎に番組のジャンル等に応じて色分けされていてもよい。図13を用いて説明する。図13は、番組内容に応じて色分けされた電子番組表の一部を示す図である。図13の表示画面例1101では、ドラマを黄色、バラエティを青、ニュース・天気予報等の情報番組を白で、番組枠の左辺部分が色分けされている。また、電子番組表に重畳して時間表示アイコン115が表示されている。

[0051] これにより、高速スクロール中で、ユーザに対し、番組内容を示す文字情報を認識させることができない場合であっても、電子番組表の色を認識させることができる。よって、ユーザに対し、高速スクロール中でも、番組のジャンルを認識させることができる。

[0052] なお、色分けは、上記の方法に限られず、例えば、番組枠の右辺が色分けされているものであってもよいし、番組枠の内側の領域全体が色づけされているものであってもよい。

[0053] また、電子番組表が色分けされている場合に、高速スクロールが実行されると、文字情報を空白にし色情報のみスクロールされるものであってもよい。これにより、文字情報をスクロールする処理が不要となるので、処理負荷を軽くすることができる。

[0054] (付記事項3)

また、上述した実施の形態は、電子番組表が、日付毎にタブ形式で表示さ

れるものの場合にも適用することができる。日付毎にタブ形式で表示される電子番組表の例を図 1 4 に示す。図 1 4 に示すように、表示画面例 1 2 0 1 では、1 日分の電子番組表が 1 シートになっており、日付をタブ 2 0 1 により変更できるようになっている。また、電子番組表に重畳して時間表示アイコン 1 2 1 が表示されている。

[0055] このような、日付毎にタブ形式で表示される電子番組表の場合は、スクロールボタンが押下された場合に、1 日の最後の番組枠までカーソル位置が移動すると、タブを切り替えて次の日の最初の番組枠からスクロールするようにすることで、上記実施の形態と同じ効果を奏することができる。

[0056] また、高速スクロールの場合は、表示時間のみ進行させるので、スクロールボタンの押下が終了した時点における日付のタブを前面に表示すればよい。

[0057] (付記事項 4)

また、上述した実施の形態では、縦が時間軸、横がチャンネル番号軸とした電子番組表を例に説明したが、電子番組表の形式はこれに限られるものではない。例えば、縦がチャンネル番号軸、横が時間軸の電子番組表であってもよい。さらに、電子番組表はマトリクス状で限られるものではない。

[0058] (付記事項 5)

また、上述した実施の形態では、通常スクロールが所定の時間以上続くと、高速スクロールが実行される構成として説明したが、高速スクロールの実行はこれに限られるものではない。リモコンに高速スクロールボタンを備え、当該高速スクロールボタンが押下されていることを受け付けると、最初から高速スクロールを実行するものであってもよい。

[0059] また、リモコンにジョグダイヤルを備え、ジョグダイヤルが回転されるスピードに応じ、ジョグダイヤルの回転速度が所定値以下の場合は通常スクロールを実行し、ジョグダイヤルの回転速度が所定値より大きい場合は高速スクロールを実行するものであってもよい。

[0060] (付記事項 6)

また、上述した実施の形態では、高速スクロール中に、電子番組表の番組内容を示す文字情報がスクロールする構成について記載したが、例えば、電子番組表の時間軸およびチャンネル番号軸のみ残し、残りを空白状態にし、時間表示アイコンを表示して高速スクロールする構成であってもよい。この構成の電子番組表の表示画面例 1501 を図 15 に示す。表示画面例 1501 では、番組の文字情報の部分が空白となり時間表示アイコン 151 が表示されている。

[0061] なお、図 15 では番組の文字情報の部分が完全に空白となっているが、番組毎の境界やチャンネルの境界を示す枠線だけ残す構成であってもよい。あるいは、図 15 で表示されている時刻や日付を示す左右両端の文字情報も空白とする構成としてもよい。

[0062] これにより、文字情報をスクロールする処理を行う必要がなくなるので、処理負荷を軽くすることができる。

[0063] 本発明は上述した実施の形態に限定されるものではなく、請求項に示した範囲で種々の変更が可能である。すなわち、請求項に示した範囲で適宜変更した技術的手段を組み合わせて得られる実施形態についても本発明の技術的範囲に含まれる。

[0064] (付記事項 7)

また、高速スクロール処理部 12 が表示部 4 に表示させる時間表示アイコンは、アナログ時計形式、およびデジタル時計形式の両方を含むものであってもよい。図 16 に、時間表示アイコンに、アナログ時計形式およびデジタル時計形式の両方が含まれる場合を示す。図 16 に示す表示画面例 1601 では、時計表示アイコンの、アナログ時計形式部分 1611 で 7 時を示すとともに、デジタル時計形式部分 1612 で「午後 7 : 00」と示している。

[0065] これにより、ユーザは、視覚的に、容易に 7 時であることを認識することができるとともに、午後 7 時であることを明確に認識することができる。

[0066] また、時計表示アイコンのデジタル時計形式部分に、日付が含まれていてもよい。デジタル時計形式の部分に、日付が含まれている例を図 17 に示す

。図 17 の表示画面例 1701 では、デジタル時計形式部分 1712 に「2010 年 4 月 26 日（月）午後 7：00」と示されている。これにより、ユーザは、年月日まで明確に認識することができる。

[0067] （付記事項 8）

また、高速スクロール処理部 12 が表示部 4 に表示させる時計アイコンがアナログ時計形式の場合に、午前と午後とで、アナログ時計の時計部分の領域の色を変更する構成であってもよい。図 18 を参照して説明する。図 18 の表示画面例 1801 に示すように、時間表示アイコン 1811 のアナログ時計領域 1812 の色を、午前と午後とによって変更する。

[0068] これにより、ユーザは、時間表示アイコンが示している時間が午前であるの、または午後であるのかを容易に認識することができる。

[0069] （付記事項 9）

また、高速スクロール処理部 12 が表示部 4 に表示させる時間表示アイコンの下部に、日中か夜間かを示すイメージを表示させる構成であってもよい。これは、日中および夜間の時間帯にそれに対応するイメージを割り当て、表示制御部 3 が、表示している時間帯に応じて当該イメージを表示することにより実現できる。

[0070] この例を具体的な様子を、図 19、20 を参照して説明する。ここでは、日中を示すイメージとして太陽を、夜間を示すイメージとして月を用いている。

[0071] 図 19 に示す表示画面例 1901 では、アナログ時計形式の時間表示アイコン 1911 の下部に日中夜間イメージ表示 1912 が表示されている。そして、日中夜間イメージ表示 1912 において、太陽が前面に表示されているので、午前 7 時を示している。

[0072] 日中夜間イメージ表示は、太陽と月とがサークル状に対向した位置で配置されている。また、サークルは、表示画面に対し、垂直に近い面がサークル面となるような表示となっており、太陽が最も前面に表示されているときは、月が最も遠くの位置に配置されているように表示される。

[0073] そして、太陽および月は24時間で1回転し、昼の12時（午後12時）に太陽が最も前面に表示され、夜の12時（午前0時）に月が最も前面に表示される。すなわち、午前6時から午後6時までは、太陽が前面となり、午後6時から午前6時までは、月が前面となる。

[0074] したがって、図20の表示画面例2001では、日中夜間イメージ表示2012において、月が前面に表示されているので、午後7時であることを示している。

[0075] なお、日中および夜間の判別ではなく、午前および午後の判別をイメージにより行う構成であってもよい。すなわち、午前0時から午後12時までと午後12時から午前0時までとで、異なるイメージを割り当てて、これらをサークル状に配置して、回転させる構成であってもよい。

[0076] また、イメージが割り当てられる時間帯は2つに限られず、いくつであってもよい。

[0077] （付記事項10）

また、高速スクロール処理部12が表示部4に表示させる時間表示アイコンの下部に、日付を示す日付バーを表示する構成であってもよい。図21を参照して説明する。図21に示す表示画面例2101では、時間表示アイコン2111の下部に8日分の日付を示す日付バー2112が表示されている。

[0078] 日付バー2112は、図21に示すように、横方向にバーが8等分されており、それぞれに日付が割り当てられている。表示画面例2101では、24日～31日が割り当てられており、26日であることを示している。これにより、ユーザに対し、日付を視覚的に容易に認識させることができる。

[0079] （付記事項11）

また、電子番組表の時間軸およびチャンネル番号軸のみ残し、残りの領域に日付を示すカレンダーを表示する構成であってもよい。図22を参照して説明する。図22に示す表示画面例2201では、時間表示アイコン2211の背部にカレンダー2212が表示されている。

[0080] カレンダーは、例えば、8日分の日付領域と表示棒とからなり、日付領域における表示棒の位置によって、日付を示すものである。表示画面例2201のカレンダー2212では、表示棒2213が26日の領域に位置しているので、26日であることを示している。また、表示棒2213は、スクロールとともに日付領域を、24日→25日→26日→…、と移動するものである。

[0081] [実施の形態2]

本発明の他の実施の形態について図23から図33に基づいて説明すれば、以下のとおりである。なお、説明の便宜上、上記の実施の形態1において示した部材と同一の機能を有する部材には、同一の符号を付し、その説明を省略する。

[0082] 本実施の形態において、上記実施の形態1と異なるのは、時間軸方向に加え、チャンネル軸方向にも、カーソル移動、低速スクロール、および高速スクロールする点である。

[0083] 近年、インターネットを介したネットテレビ、CS放送、BS放送など、テレビのチャンネルの多様化に伴いチャンネル数が増加している。これにより、電子番組表を一画面で行うことが困難になってきており、何ページにもわたって、表示されている場合もある。したがって、電子番組表をチャンネル軸方向にスクロールさせるときに、時間軸方向にスクロールする場合と同様に、スクロールを停止したら電子番組表のどの部分が画面に表示されるのかを、ユーザに容易に認識させることができれば、利便性・操作性が向上する。

[0084] チャンネル軸方向に、カーソル移動、低速スクロール、および高速スクロールする場合の表示画面例について、図24～27を参照して説明する。

[0085] まず、図24の表示画面例2401に示すように、現在時刻において、選択されている番組の番組枠が強調表示されている。ここでは、現在時刻である午後2時03分に対応する午後2時の10チャンネルの番組枠2311が強調表示されている。

[0086] そして、チャンネル軸の右方向に対応するスクロールボタンが押下されていることを示す信号を受け付けると、強調表示される番組枠が1チャンネル分、右方向にずれる。さらに、チャンネル軸の右方向に対応するスクロールボタンが押下されていることを受け付けると、同様に強調表示される番組枠がチャンネル軸の右方向にずれ、強調表示される番組枠が表示画面の右端になり、図25の表示画面例2501の番組枠2511のようになる。さらに、スクロールボタンが押下されると、図26の表示画面例2601に示すように、電子番組表自体が、チャンネル軸の左側方向に1チャンネル分ずつ、移動していく。

[0087] そして、そのまま、スクロールボタンが押下され続けると、図27の表示画面例2701に示すように時間軸およびチャンネル番号軸を残し、チャンネル番号軸2712のみをスクロールさせるとともに、チャンネル番号軸の右端のチャンネル番号枠を強調表示する。さらに、残りの領域に、強調表示しているチャンネル番号枠が示すチャンネルのチャンネル情報を示すチャンネル表示アイコン2611をスクロールされる順に表示させる。

[0088] 表示画面例2701では、チャンネル番号2、3桁番号103の「××××テレビ」のロゴおよび名称がチャンネル表示アイコンとして表示されている。

[0089] また、スクロール方向が反対方向、すなわち左方向であれば、強調表示される番組枠が左方向に移動し、左端までくると、チャンネル軸のみがスクロールするとともに、チャンネル軸の右端のチャンネル番号枠が強調表示される。

[0090] 次に、本実施の形態における高速スクロール処理の流れについて、図23を参照して説明する。図23は、高速スクロール処理の流れを示すフローチャートである。なお、高速スクロール処理に入るまでの処理の流れは、図2と同様である。

[0091] 高速スクロールに入ると、高速スクロール処理部12は、スクロール方向が時間軸方向か否かを判定する(S21)。スクロール方向が時間軸方向で

あれば（S 2 1 で Y E S）、図 4 のステップ S 1 1 に進む。

[0092] 一方、スクロール方向が時間軸方向でなければ（S 2 1 で N O）、すなわち、スクロール方向がチャンネル軸方向であれば、高速スクロール処理部 1 2 は、チャンネル表示アイコンを表示する（S 2 2、表示画面例 2 7 0 1）。

[0093] 次に、高速スクロール処理部 1 2 は、チャンネル表示アイコンによって表示されているチャンネル番号を変数として設定する（S 2 3）。そして、その変数を参照して当該チャンネルを示すチャンネル表示アイコンを表示する（S 2 4）。図 2 7 の表示画面例 2 7 0 1 では、チャンネル表示アイコンが示すチャンネル番号が 1 0 なので、変数が 1 0 に設定される。そして、高速スクロール処理部 1 2 は、スクロールボタンの押下時間が所定時間を超える毎に、変数を更新して、更新後のチャンネルに対応するチャンネル表示アイコンを表示させる（S 2 5）。

[0094] そして、高速スクロール処理部 1 2 は、スクロールボタンの押下が終了したことを受け付けると（S 2 6 で Y E S）、そのときの変数が示すチャンネル番号がチャンネル軸の中央となる電子番組表を表示させる（S 2 7）。以上が、高速スクロール処理の流れである。

[0095] なお、カーソル移動→低速スクロール→高速スクロールという順番を経ずに、高速スクロールボタン等を設けて、直接、高速スクロールに行う構成であってもよい。

[0096] （付記事項 1 2）

上述した実施の形態では、チャンネル表示アイコンを 1 つだけ表示し、これを切り替える構成について説明したが、これとは異なる表示を行う構成であってもよい。例えば、放送局それぞれのロゴを示すロゴアイコンを一覧表示して、そのうちの 1 つを強調表示し、スクロールボタンの押下時間が所定時間を経過する毎に、強調表示されるロゴアイコンを移動させていてもよい。移動方向は、例えば、ラスタスキャン順を挙げることができる。

[0097] ロゴアイコンを一覧表示する場合の例を、図 2 8 を参照して説明する。図

28の表示画面例2801の場合は、ロゴアイコンの一覧表示2811のうち、表示画面左上のロゴアイコンが強調表示されている。そして、この強調表示が、スクロールボタンの押下時間が所定時間を経過する毎に、右のロゴアイコンにずれていく。そして、強調表示されるロゴアイコンが右端までくると、2段目の左端のロゴアイコンが次に強調表示される。

[0098] さらに、表示画面例2801では、強調表示されているロゴアイコンと対応するチャンネルのチャンネル情報（チャンネル番号、3桁番号、放送局名）が表示部下部に表示されている。

[0099] これにより、ユーザは、スクロール終了後に表示されるチャンネルを視覚的に容易に認識することができるとともに、所望のチャンネルまでのスクロール量を容易に認識することができる。

[0100] さらに、放送局の数が多く、表示するロゴアイコンが一画面に収まらないとき、一画面に収まっていないことを示すアイコンを表示する構成であってもよい。

[0101] 例えば、表示するロゴアイコンが複数ページにわたる場合、1ページ目の右下のアイコンを、ロゴアイコンが重なっているような表示にし、途中ページについては、左上のアイコンと右下のアイコンとを同様にロゴアイコンが重なっているような表示とし、最終ページについては、左上のアイコンのみ、ロゴアイコンが重なっている表示とする。

[0102] 図29を参照して説明する。図29の表示画面例2901では、複数のロゴアイコンが一覧表示（一覧表示2911）されるとともに、左上および右下のアイコンが、ロゴアイコンが重なっているような表示となっている。さらに、表示部下部には、強調表示されているロゴアイコンと対応するチャンネルのチャンネル情報とともに、ロゴアイコンの一覧表示が全体で何ページあり、現在表示しているのが何ページ目であるのかを示している。ここでは、全ページが4ページであり、現在表示しているのが2ページ目であることが示されている。

[0103] そして、強調表示されているロゴアイコンが右下まで進んだ状態で、さら

にスクロールボタンが押下され続けた場合、次のページのロゴアイコン一覧が表示されるとともに、当該ページの左上のアイコン（ロゴアイコン）が強調表示される。

[0104] また、例えば、表示するロゴアイコンが複数ページにわたる場合、１ページ目の右下に続きがあることを示すアイコン（例えば、右向きの矢印）を表示し、途中ページについては、左上に前に続きがあることを示すアイコン（例えば、左向きの矢印）を表示するとともに、右下に続きがあることを示すアイコンを表示し、最終ページについては、左上に続きあることを示すアイコンを表示してもよい。

[0105] 図３０を参照して説明する。図３０の表示画面例３００１では、複数のロゴアイコンが一覧表示（一覧表示３０１１）されるとともに、表示部の左上に矢印３０１２が、右下に矢印３０１３が表示されえている。これにより、このページには、前のページと後のページとが存在していることをユーザに認識させることができる。

[0106] （付記事項１３）

また、それぞれの放送局を示すロゴアイコンをサークル状に表示する構成であってもよい。図３１を参照して説明する。図３１の表示画面例３１０１では、ロゴアイコンがサークル状に配置されており（サークル状一覧表示３１１１）、下部中央に位置するロゴアイコンが強調表示されている。サークルは、下部中央が最も前面となり、上部中央が最も後となるような形状である。さらに、表示部下部に強調表示されているロゴアイコンと対応する放送局のチャンネル情報が表示されている。

[0107] そして、スクロールボタンが押下され続けると、サークルが回転し、下部中央に配置されるロゴアイコンが入れ替わる。なお、サークルの下部中央から離れるにしたがって、表示が薄くなっていく構成であってもよい。

[0108] これにより、視覚的に放送局をわかりやすく表示することができる。

[0109] また、放送局の数が多く、ロゴアイコンがサークル状に表示しきれない場合、サークル状の上部付近のロゴアイコンを重ねて表示する構成であっても

よい。図 3 2 を参照して説明する。図 3 2 の表示画面例 3 2 0 1 では、サークル状の上部付近のロゴアイコンが重ねて表示されている（サークル状一覧表示 3 2 1 1）。

[0110] この場合、ロゴアイコンの移動は次のようになる。スクロールボタンが押下されることにより、サークルが回転し、後部（上部）のロゴアイコンが重なっている位置まで移動したロゴアイコンは、その位置で、所定の数のロゴアイコンが当該ロゴアイコンの前面に重ねられるまで停止する。所定の数のロゴアイコンが当該ロゴアイコンの前面に重ねられると、当該ロゴアイコンはサークル状で回転し、次の位置のロゴアイコンの前面に配置される。その後は同様の動作を繰り返し、所定の数のロゴアイコンが当該ロゴアイコンの前面に重ねられると、サークル状の次の位置に移動する。

[0111] また、サークル状のロゴアイコンを大きさを、下部（前面）は大きく、下部から離れるにしたがって小さくする構成であってもよい。ロゴアイコンの大きさを変える例を図 3 3 に示す。図 3 3 の表示画面例 3 3 0 1 では、下部に配置されているロゴアイコンが最も大きく、下部から離れるにしたがって、ロゴアイコンの大きさが小さくなっている（サークル状一覧表示 3 3 1 1）。これにより、ユーザに対し、スクロールを停止したときに表示される電子番組表のチャンネルを容易に認識させることができるとともに、視覚的にユーザを楽しませることができる。

[0112] 〔実施の形態 3〕

本発明の他の実施の形態について図 3 4 から図 3 9 に基づいて説明すれば、以下のとおりである。なお、説明の便宜上、上記の実施の形態 1 において示した部材と同一の機能を有する部材には、同一の符号を付し、その説明を省略する。

[0113] 本実施の形態において、上記実施の形態 1、2 と異なるのは、高速スクロール処理部 1 2 が高速スクロール中に、表示制御部（予約識別情報表示手段）3 が表示部 4 に予約識別情報を表示する点である。詳細は後述するが、予約識別情報は、時間表示アイコンに関連させて表示させてもよいし、時間表

示アイコンとは独立に表示させてもよい。ここで、予約識別情報とは、番組の視聴予約、録画予約等の予約がされている場合に、これらの時間帯を識別するための情報である。

[0114] 予約識別情報を表示することにより、高速スクロール中であっても、ユーザに対し、予約がされている時間帯を提示することができる。よって、ユーザは、高速スクロール中であっても、予約がされている時間でスクロールを停止して、予約番組を確認することができる。

[0115] 予約識別情報の表示は、テレビ装置 1 で視聴または録画の予約を行う場合や、テレビ装置 1 の外部で録画する場合であっても、録画の指示をテレビ装置 1 で行う場合に可能である。

[0116] (表示例 1)

予約識別情報を表示する第 1 の例について、図 3 4 を参照して説明する。図 3 4 の表示画面例 3 4 0 1 では、時間表示アイコンとしてアナログ時計表示アイコン 3 4 0 2 が表示されている。そして、本表示例では、予約がある場合とない場合とで、アナログ時計表示アイコン 3 4 0 2 における針部 3 4 0 3 の表示の色を変える。例えば、通常の状態では針部 3 4 0 3 の色を黒で表示し、予約がある時間帯は針部 3 4 0 3 の色を赤で表示する。

[0117] これにより、高速スクロール中、通常の時間帯は針部 3 4 0 3 が黒色で表示され、予約がある時間帯は針部 3 4 0 3 が赤色で表示されることになる。よって、ユーザは、針部 3 4 0 3 の色を認識することにより、高速スクロール中に、現在スクロール中の時間帯が、予約がされている時間帯であるか否かを容易に認識することができる。

[0118] (表示例 2)

次に、予約識別情報を表示する第 2 の例について、図 3 5 を参照して説明する。図 3 5 の表示画面例 3 5 0 1 では、時間表示アイコンとしてアナログ時計表示アイコン 3 5 0 2 が表示されている。そして、本表示例では、予約がある時間帯を示す予約時間表示 3 5 0 3 が、アナログ時計表示アイコン 3 5 0 2 の外周部に表示されている。

[0119] 表示画面例 3 5 0 1 では、2時から3時までと6時から8時までが予約されている時間帯として表示されている。

[0120] なお、アナログ時計表示アイコン 3 5 0 2 は、1 2 時間表示なので、高速スクロール中に 1 2 時の表示を超えると、次の 1 2 時間分における予約されている時間帯が表示される。

[0121] これにより、ユーザは、高速スクロール中、予約されている時間帯を視覚的に、容易に認識することができる。

[0122] (表示例 3)

次に、予約識別情報を表示する第 3 の例について、図 3 6 を参照して説明する。図 3 6 の表示画面例 3 6 0 1 では、時間表示アイコンとしてアナログ時計表示アイコン 3 6 0 2 が表示されている。そして、本表示例では、予約がある時間帯を示す予約時間表示 3 6 0 3 が、アナログ時計表示アイコン 3 6 0 2 の内部領域に表示されている。

[0123] 表示画面例 3 6 0 1 では、2時から3時までと6時から8時までが予約されている時間帯として表示されている。

[0124] なお、アナログ時計表示アイコン 3 6 0 2 は、アナログ時計表示アイコン 3 5 0 2 と同様に 1 2 時間表示なので、高速スクロール中に 1 2 時の表示を超えると、次の 1 2 時間分における予約されている時間帯が表示される。

[0125] これにより、ユーザは、高速スクロール中、予約されている時間帯を視覚的に、容易に認識することができる。

[0126] (表示例 4)

次に、予約識別情報を表示する第 4 の例について、図 3 7 を参照して説明する。図 3 7 の表示画面例 3 7 0 1 では、時間表示アイコンとしてアナログ時計表示アイコン 3 7 0 2 が表示されている。そして、本表示例では、予約がある時間帯を示す予約時間表示 3 7 0 3、3 7 0 4 が、アナログ時計表示アイコン 3 7 0 2 の外周部に表示された複数の輪の中に表示されている。この複数の輪は年輪状に表示されており、一番内側の輪が現在時刻から 1 2 時までを示し、内側から 2 番目の輪が 1 2 時から次の 1 2 時までの 1 2 時間を

示すというように、現在時刻から12時間分ごとの時間帯を示している。

[0127] また、複数の輪のうち、現在スクロール中の時間帯に対応する輪に表示されている予約時間帯表示は、他の輪に表示されている予約時間帯表示と異なる色で表示されている。表示画面例3701に示す例では、内側から2番目の輪に表示されている予約時間帯表示3705が他の予約時間帯表示3704と異なる色で表示されている。よって、この場合は、現在時刻から一度12時を過ぎ、その後さらに12時を過ぎるまでの時間帯を、現在スクロール中であることを示している。

[0128] なお、表示画面例3701では、年輪状の輪は4重（すなわち、2日分）で表示されているが、輪の数はこれに限られない。例えば8日分（16重）表示すれば、現在、電子番組表が配信されている日数と同じとすることができ、配信されている電子番組表分の予約時間帯を識別するための情報は全て表示するということができる。

[0129] また、年輪状の輪の部分の日付を示す日付表示を行ってもよい。日付を表示することで、当該輪の部分が何日を示しているかを、ユーザに対し容易に認識させることができる。

[0130] （表示例5）

次に、予約識別情報を表示する第5の例について、図38を参照して説明する。図38の表示画面例3801では、時間表示アイコンとしてアナログ時計表示アイコン3802が表示されているとともに、アナログ時計表示アイコン3802の背後にカレンダー3803が表示されている。

[0131] カレンダーは、例えば、8日分の日付領域と表示棒とからなり、日付領域における表示棒の位置によってスクロール中の日付を示し、表示棒がスクロールとともに日付領域を移動するものである。表示画面例3801のカレンダー3803では、表示棒3804が5日目の後半に位置しているので、現在スクロール中の位置が現在時刻から5日目の後半であることを示している。

[0132] そして、本表示例では、予約がある時間帯を示す予約時間帯表示3805が

、カレンダー３８０３内に表示されている。表示画面例３８０１では、３日目の後半と７日目のほぼ全体が予約されている時間帯であることが示されている。

[0133] (表示例６)

次に、予約識別情報を表示する第６の例について、図３９を参照して説明する。図３９の表示画面例３９０１では、時間表示アイコンとしてアナログ時計表示アイコン３９０２が表示されているとともに、アナログ時計表示アイコン３９０２の下部に８日分の日付を示す日付バー３９０３が表示されている。

[0134] 日付バー３９０３は、横方向にバーが８等分されており、それぞれに日付が割り当てられているとともに、現在スクロール中の日付に対応する領域を他の領域と異なる表示をするものである。表示画面例３９０１では、１７日に対応する領域が他の領域と異なる表示となっているので、現在、１７日をスクロール中で有ることを示している。

[0135] そして、本表示例では、予約がある時間帯を示す予約時間表示３９０４が、日付バー３９０３の内部領域に表示されている。表示画面例３９０１では、１８日の後半と２１日のほぼ全体が予約されている時間帯であることが示されている。

[0136] (その他)

なお、本発明は以下のように記載することもできる。本発明に係る電子番組表表示装置は、一方の軸を時間軸とし、他方の軸をチャンネル番号軸としてマトリックス表示された電子番組表を表示する電子番組表表示装置であって、上記電子番組表を時間軸方向にスクロールする指示を受け付けるスクロール受付手段と、上記スクロール受付手段がスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表を時間軸方向にスクロールするスクロール手段と、上記スクロール手段が上記電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示する時刻表示制御手段と、上記スクロール手段がスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止し

た時点で上記時刻表示制御手段が表示していた時刻に対応する部分を表示する電子番組表表示制御手段と、を備えていることを特徴としている。

[0137] また、本発明に係る電子番組表表示装置の制御方法は、一方の軸を時間軸とし、他方の軸をチャンネル番号軸としてマトリックス表示された電子番組表を表示する電子番組表表示装置の制御方法であって、上記電子番組表を時間軸方向にスクロールする指示を受け付けるスクロール受付ステップと、上記スクロール受付ステップでスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表を時間軸方向にスクロールするスクロールステップと、上記スクロールステップで上記電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示する時刻表示制御ステップと、上記スクロールステップでスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロールステップでスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御ステップで表示していた時刻に対応する部分を表示する電子番組表表示制御ステップと、を含むことを特徴としている。

[0138] 上記の構成または方法によれば、電子番組表を時間軸方向にスクロールしている間、表示部に時刻が表示される。そして、スクロールを停止すると、電子番組表のうち、スクロールを停止したときに表示されていた時刻に対応する部分が表示部に表示される。

[0139] よって、ユーザは、電子番組表をスクロールしている間、画面に表示された時刻を確認することによって、スクロールを停止したら電子番組表のどの部分が画面に表示されるかを、容易に認識することができる。よって、電子番組表の操作性・利便性が向上する。

[0140] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記スクロール手段は、上記電子番組表のスクロールを開始してから所定の時間が経過した後、スクロール速度を高速化するものであり、上記時刻表示制御手段は、上記スクロール手段がスクロール速度を高速化した後、時刻表示を開始するものであってもよい。

[0141] 上記の構成によれば、電子番組表の高速スクロールが開始されるまでは、

時刻表示が行われないので、時計表示による電子番組表の視認性の低下を回避することができる。

[0142] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段は、上記電子番組表に重畳して、時刻を表示するものであってもよい。

[0143] 上記の構成によれば、電子番組表に重畳して時刻が表示されるので、ユーザに対し、スクロールの間の時間帯を容易に、かつ明確に認識させることができる。

[0144] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段は、アナログ時計形式で時刻を表示するものであってもよい。

[0145] 上記の構成によれば、アナログ時計形式で時刻を表示するので、ユーザに対し、スクロールの間の時間帯を、直感的に認識させることができる。

[0146] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記スクロール手段は、スクロール速度を高速化したときに、電子番組表の時間軸およびチャンネル番号軸のみ残し、残りを空白状態とするものであってもよい。

[0147] 上記の構成によれば、文字情報をスクロールする処理を行う必要がなくなるので、処理負荷を軽くすることができる。

[0148] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段は、アナログ時計形式およびデジタル時計形式の両方で時刻を表示するものであってもよい。

[0149] 上記の構成によれば、アナログ時計形式とデジタル時計形式との両方で時刻が表示されるので、ユーザに対し、視覚的かつ明確に時刻を提示することができる。

[0150] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段は、午前と午後とで表示する時刻の色を異ならせるものであってもよい。

[0151] 上記の構成によれば、午前と午後とで表示する時刻の色が異なるので、表示している時刻が午前であるのか、または午後であるのかを明確にユーザに提示することができる。

[0152] 特にアナログ時計形式の場合やデジタル時計形式で12時間表示の場合は

、表示している時刻が午前なのか午後なのかが判別できないので、上記の構成により、午前であることまたは午後であることを、ユーザに対し明確に提示することができる。

[0153] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段は、1日24時間を複数の時間帯に分割し、各時間帯に対応するイメージを割り当て、時刻とともに該時刻が含まれる時間帯に割り当てられたイメージを表示するものであってもよい。

[0154] 上記の構成によれば、表示されたイメージにより、おおよその時間帯をユーザに提示することができる。これにより、ユーザは、表示された時刻およびイメージにより、当該時刻を視覚的に認識することができる。例えば、夜の時間帯に月のイメージが割り当てられ、昼の時間帯に太陽のイメージが割り当てられていれば、ユーザは表示されている時刻およびイメージにより、その時刻が昼の時刻なのか夜の時刻なのかを視覚的に認識することができる。

[0155] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記イメージは、表示面に対し略垂直な方向に視認されるような面をサークル面とするサークル状に配置されており、上記時刻表示制御手段は、表示する時刻の変動に応じて、上記サークル状に配置されているイメージの表示位置を、該サークルが回転するように変化させ、表示している時刻が含まれる上記時間帯に割り当てられたイメージを、上記サークルの最も前面となる位置に表示するものであってもよい。

[0156] 上記の構成によれば、イメージがサークル状に配置され、表示する時刻変動とともに、イメージの表示位置が、サークルが回転するように変化する。これにより、ユーザに対し、変動している時刻のおおよその時間帯を、視覚的に提示することができる。

[0157] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段は、上記電子番組表に重畳して、日付を表示するものであり、上記電子番組表表示制御手段は、上記スクロール手段がスクロールを停止した後、上記電子番組表の

うち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御手段が表示していた日付および時刻に対応する部分を表示するものであってもよい。

[0158] 上記の構成によれば、時刻に加え日付を表示する。これにより、ユーザに対し、スクロールを停止したときに表示される電子番組表の日付を明確に提示することができる。

[0159] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段は、棒状領域を複数の区画に区切り、それぞれの区画に日付を割り当てたスライドバーにより、日付を表示するものであってもよい。

[0160] 上記の構成によれば、棒状領域を複数の区画に区切り、それぞれの区画に日付を割り当てたスライドバーにより日付を表示するので、ユーザに対し、日付を視覚的に認識させることができる。

[0161] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段は、複数の日付が含まれるカレンダーを表示し、該カレンダーの日付領域に目印を表示することにより、日付を表示するものであってもよい。

[0162] 上記の構成によれば、カレンダーの日付領域に表示された目印により日付を提示することができるので、ユーザに対し、日付を視覚的に提示することができる。

[0163] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記スクロール受付手段は、上記電子番組表をチャンネル軸方向にスクロールする指示を受け付け、上記スクロール手段は、上記スクロール受付手段がチャンネル軸方向にスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表をチャンネル軸方向にスクロールするものであって、当該電子番組表表示装置は、上記スクロール手段が上記電子番組表のスクロールを開始した後、チャンネル番号を示すチャンネル情報を表示部に表示するチャンネル表示制御手段を備え、上記電子番組表表示制御手段は、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記チャンネル表示制御手段が表示していたチャンネル情報が示すチャンネルに対応する部分を表示するものであってもよい。

- [0164] 上記の構成によれば、電子番組表をチャンネル軸方向にスクロールしている間、表示部にチャンネル情報が表示される。そして、スクロールを停止すると、電子番組表のうち、スクロールを停止したときに表示されていたチャンネル情報が示すチャンネルに対応する部分が表示部に表示される。
- [0165] よって、ユーザは、電子番組表をスクロールしている間、画面に表示されたチャンネル情報を確認することによって、スクロールを停止したら電子番組表のどの部分が画面に表示されるかを、容易に認識することができる。よって、電子番組表の操作性・利便性が向上する。
- [0166] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記チャンネル表示制御手段は、複数のチャンネルのチャンネル情報を一覧表示するとともに、一覧表示されているチャンネル情報の1つを強調表示し、上記スクロール手段がスクロールしている間、強調表示するチャンネル情報を変更し、上記電子番組表表示制御手段は、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記チャンネル表示制御手段が強調表示していたチャンネル情報に対応するチャンネルの部分を表示するものであってもよい。
- [0167] 上記の構成によれば、チャンネル情報が一覧表示されるとともに、一覧表示されているチャンネル情報の1つが強調表示され、スクロール手段がスクロールしている間、強調表示されるチャンネル情報を変更される。これにより、ユーザに対し、チャンネル情報を一覧で提示できるうえに、スクロールを停止したときに、どのチャンネル情報が示すチャンネルに対応する電子番組表が表示されるかを、容易に認識させることができる。
- [0168] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記チャンネル表示制御手段は、複数のチャンネルのチャンネル情報を、表示面に対し略垂直な方向に視認されるような面をサークル面とするサークル状に配置するとともに、上記スクロール手段がスクロールしている間、上記サークルが回転するように上記チャンネル情報の表示位置を変更させて、該サークルの最も前面にあるように視認される位置に配置されるチャンネル情報を変更し、上記電子番組表表示制御手段は、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停

止した時点で上記チャンネル表示制御手段が上記サークルの最も前面にあるように視認される位置に表示していたチャンネル情報に対応するチャンネルの部分を表示するものであってもよい。

[0169] 上記の構成によれば、チャンネル情報がサークル状に配置されて、スクロールとともにサークルが回転するようにチャンネル情報の表示位置が変更される。そして、スクロールを停止した時点で、前面にあるように視認される位置に表示されているチャンネル情報が示すチャンネルに対応する電子番組表が表示される。これにより、ユーザに対し、チャンネルがスクロールされていることを視覚的に提示することができる。

[0170] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記スクロール手段がスクロール中に上記時刻表示制御手段が表示する時刻表示と対応させて、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を上記表示部に表示する予約識別情報表示手段を備えていてもよい。

[0171] 上記の構成によれば、時刻表示制御手段が表示する時刻表示と対応させて、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報が表示される。これにより、スクロール中に、番組の視聴または録画が予約されている時間帯をユーザに提示することができる。

[0172] また、ユーザは、スクロール中に、番組の視聴または録画が予約されている時間帯を認識できることにより、当該時間帯でスクロールを停止して、予約番組を確認することができる。

[0173] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段がアナログ形式で時刻を表示する場合に、該アナログ形式の時刻表示が、番組の視聴または録画の予約時間帯を示すとき、上記アナログ形式の時刻表示の針部の色を変更する予約識別情報表示手段を備えていてもよい。

[0174] 上記の構成によれば、アナログ形式の時刻表示において、予約時間帯のときの針部の表示の色が変更される。これにより、ユーザに対し、予約時間帯であることを視覚的に提示することができる。また、ユーザは、スクロール中に、予約時間帯であることを容易に認識することができる。

- [0175] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段がアナログ形式で時刻を表示する場合に、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を、上記アナログ形式の時刻表示における対応する時間帯の外周部または内部領域に表示する予約識別情報表示手段を備えていてもよい。
- [0176] 上記の構成によれば、アナログ形式の時刻表示の外周部または内部領域に予約時間帯を識別可能な予約識別情報が表示される。これにより、ユーザに対し、予約時間帯を一覧で提示することができる。また、ユーザは、スクロール中に、予約時間帯を一度に認識することができる。
- [0177] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段がアナログ形式で時刻を表示する場合に、該アナログ形式の時刻表示の外周部に、年輪状となるように複数の輪を設け、現在時刻から１２時までを当該輪の最も内側の輪に割り当てるとともに、該１２時以降、１２時間ごとに１つずつ外側の輪を割り当て、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を、上記輪における対応する位置に表示する予約識別情報表示手段を備えていてもよい。
- [0178] 上記の構成によれば、アナログ形式の時刻表示の外周部に年輪状となるように複数の輪が設けられ、それぞれの輪について、現在時刻から１２時までが最も内側の輪に割り当てられ、該１２時以降、１２時間ごとに１つずつ外側の輪が割り当てられる。そして、予約時間帯を識別可能な予約識別情報が、上記輪における対応する位置に表示される。
- [0179] これにより、１２時間分以上先の予約時間帯であっても表示することができるので、ユーザに対し、１２時間分以上先の予約時間帯も提示することができる。
- [0180] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段が上記カレンダーを表示する場合に、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を、上記カレンダーにおける日付領域上の対応する位置に表示する予約識別情報表示手段を備えていてもよい。

[0181] 上記の構成によれば、カレンダーにおける日付領域上の対応する位置に予約時間帯を識別可能な予約識別情報が表示される。これにより、ユーザに対し、視覚的に予約時間帯を提示することができる。

[0182] 本発明に係る電子番組表表示装置では、上記時刻表示制御手段が上記スライドバーを表示する場合に、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を、上記スライドバーにおける日付領域上の対応する位置に表示する予約識別情報表示手段を備えていてもよい。

[0183] 上記の構成によれば、スライドバーにおける日付領域上の対応する位置に予約時間帯を識別可能な予約識別情報が表示される。これにより、ユーザに対し、視覚的に予約時間帯を提示することができる。

[0184] 上記電子番組表表示装置を含むテレビジョン受像機も、上述した効果を奏することができる。

[0185] (ソフトウェアによる構成)

最後に、テレビ装置 1 の各ブロック、特に表示制御部 3、および電子番組表処理部（押下時間判定部 11、高速スクロール処理部 12）6 は、集積回路（ICチップ）上に形成された論理回路によってハードウェア的に実現していてもよいし、CPU（central processing unit）を用いてソフトウェア的に実現してもよい。

[0186] 後者の場合、テレビ装置 1 は、各機能を実現する制御プログラムの命令を実行する CPU、上記プログラムを格納した ROM（read only memory）、上記プログラムを展開する RAM（random access memory）、上記プログラムおよび各種データを格納するメモリ等の記憶装置（記録媒体）などを備えている。そして、本発明の目的は、上述した機能を実現するソフトウェアであるテレビ装置 1 の制御プログラムのプログラムコード（実行形式プログラム、中間コードプログラム、ソースプログラム）をコンピュータで読み取り可能に記録した記録媒体を、上記テレビ装置 1 に供給し、そのコンピュータ（または CPU や MPU（microprocessor unit））が記録媒体に記録されているプログラムコードを読み出し実行することによっても、達成可能である

。

[0187] 上記記録媒体としては、例えば、磁気テープやカセットテープ等のテープ類、フロッピー（登録商標）ディスク／ハードディスク等の磁気ディスクやCD-ROM (compact disc read-only memory) ／MO (magneto-optical) ／MD (Mini Disc) ／DVD (digital versatile disk) ／CD-R (CD Recordable) 等の光ディスクを含むディスク類、ICカード（メモリカードを含む）／光カード等のカード類、マスクROM／EPROM (erasable programmable read-only memory) ／EEPROM (electrically erasable and programmable read-only memory) ／フラッシュROM等の半導体メモリ類、あるいはPLD (Programmable logic device) やFPGA (Field Programmable Gate Array) 等の論理回路類などを用いることができる。

[0188] また、テレビ装置1を通信ネットワークと接続可能に構成し、上記プログラムコードを通信ネットワークを介して供給してもよい。この通信ネットワークは、プログラムコードを伝送可能であればよく、特に限定されない。例えば、インターネット、イントラネット、エキストラネット、LAN (local area network)、ISDN (integrated services digital network)、VAN (value-added network)、CATV (community antenna television) 通信網、仮想専用網 (virtual private network)、電話回線網、移動体通信網、衛星通信網等が利用可能である。また、この通信ネットワークを構成する伝送媒体も、プログラムコードを伝送可能な媒体であればよく、特定の構成または種類のものに限定されない。例えば、IEEE (institute of electrical and electronic engineers) 1394、USB、電力線搬送、ケーブルTV回線、電話線、ADSL (asynchronous digital subscriber loop) 回線等の有線でも、IrDA (infrared data association) やリモコンのような赤外線、Bluetooth（登録商標）、IEEE 802.11無線、HDR (high data rate)、NFC (Near Field Communication)、DLNA (Digital Living Network Alliance)、携帯電話網、衛星回線、地上波デジタル網等の無線でも利用可能である。なお、本発明は、上記プログラム

コードが電子的な伝送で具現化された、搬送波に埋め込まれたコンピュータデータ信号の形態でも実現され得る。

産業上の利用可能性

[0189] 電子番組表を高速にスクロールした場合でも、適切かつ容易にスクロールしている時間を認識できるので、電子番組表を表示するデジタル放送対応テレビ等に好適である。

符号の説明

- [0190]
- 1 テレビ装置（テレビジョン受像機）
 - 3 表示制御部（時刻表示制御手段、電子番組表表示制御手段、チャンネル表示制御手段、予約識別情報表示手段）
 - 5 番組情報記憶部
 - 6 電子番組表処理部（スクロール受付手段、スクロール手段）
 - 11 押下時間判定部
 - 12 高速スクロール処理部（スクロール手段）

請求の範囲

- [請求項1] 一方の軸を時間軸とし、他方の軸をチャンネル番号軸としてマトリックス表示された電子番組表を表示する電子番組表表示装置であって、
- 上記電子番組表を時間軸方向にスクロールする指示を受け付けるスクロール受付手段と、
- 上記スクロール受付手段がスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表を時間軸方向にスクロールするスクロール手段と、
- 上記スクロール手段が上記電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示する時刻表示制御手段と、
- 上記スクロール手段がスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御手段が表示していた時刻に対応する部分を表示する電子番組表表示制御手段と、
- を備えていることを特徴とする電子番組表表示装置。
- [請求項2] 上記スクロール手段は、上記電子番組表のスクロールを開始してから所定の時間が経過した後、スクロール速度を高速化するものであり、上記時刻表示制御手段は、上記スクロール手段がスクロール速度を高速化した後、時刻表示を開始するものあることを特徴とする請求項1に記載の電子番組表表示装置。
- [請求項3] 上記時刻表示制御手段は、上記電子番組表に重畳して、時刻を表示することを特徴とする請求項1または2に記載の電子番組表表示装置。
- [請求項4] 上記時刻表示制御手段は、アナログ時計形式で時刻を表示することを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の電子番組表表示装置。
- [請求項5] 上記スクロール手段は、スクロール速度を高速化したときに、電子番組表の時間軸およびチャンネル番号軸のみ残し、残りを空白状態と

することを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の電子番組表表示装置。

[請求項6] 上記時刻表示制御手段は、アナログ時計形式およびデジタル時計形式の両方で時刻を表示することを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の電子番組表表示装置。

[請求項7] 上記時刻表示制御手段は、午前と午後とで表示する時刻の色を異ならせることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の電子番組表表示装置。

[請求項8] 上記時刻表示制御手段は、1 日 24 時間を複数の時間帯に分割し、各時間帯に対応するイメージを割り当て、時刻とともに該時刻が含まれる時間帯に割り当てられたイメージを表示することを特徴とする請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の電子番組表表示装置。

[請求項9] 上記イメージは、表示面に対し略垂直な方向に視認されるような面をサークル面とするサークル状に配置されており、

上記時刻表示制御手段は、表示する時刻の変動に応じて、上記サークル状に配置されているイメージの表示位置を、該サークルが回転するように変化させ、表示している時刻が含まれる上記時間帯に割り当てられたイメージを、上記サークルの最も前面にあるように視認される位置に表示することを特徴とする請求項 8 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項10] 上記時刻表示制御手段は、上記電子番組表に重畳して、日付を表示するものであり、

上記電子番組表表示制御手段は、上記スクロール手段がスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御手段が表示していた日付および時刻に対応する部分を表示することを特徴とする請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の電子番組表表示装置。

[請求項11] 上記時刻表示制御手段は、棒状領域を複数の区画に区切り、それぞ

れの区画に日付を割り当てたスライドバーにより、日付を表示することを特徴とする請求項 10 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項12] 上記時刻表示制御手段は、複数の日付が含まれるカレンダーを表示し、該カレンダーの日付領域に目印を表示することにより、日付を表示することを特徴とする請求項 10 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項13] 上記スクロール受付手段は、上記電子番組表をチャンネル軸方向にスクロールする指示を受け付け、

 上記スクロール手段は、上記スクロール受付手段がチャンネル軸方向にスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表をチャンネル軸方向にスクロールするものであって、

 当該電子番組表表示装置は、上記スクロール手段が上記電子番組表のチャンネル軸方向へのスクロールを開始した後、チャンネル番号を示すチャンネル情報を表示部に表示するチャンネル表示制御手段を備え、

 上記電子番組表表示制御手段は、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記チャンネル表示制御手段が表示していたチャンネル情報が示すチャンネルに対応する部分を表示することを特徴とする請求項 1 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項14] 上記チャンネル表示制御手段は、複数のチャンネルのチャンネル情報を一覧表示するとともに、一覧表示されているチャンネル情報の 1 つを強調表示し、上記スクロール手段がスクロールしている間、強調表示するチャンネル情報を変更し、

 上記電子番組表表示制御手段は、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記チャンネル表示制御手段が強調表示していたチャンネル情報に対応するチャンネルの部分を表示することを特徴とする請求項 13 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項15] 上記チャンネル表示制御手段は、複数のチャンネルのチャンネル情報を、表示面に対し略垂直な方向に視認されるような面をサークル面

とするサークル状に配置するとともに、上記スクロール手段がスクロールしている間、上記サークルが回転するように上記チャンネル情報の表示位置を変更させて、該サークルの最も前面にあるように視認される位置に配置されるチャンネル情報を変更し、

上記電子番組表表示制御手段は、上記電子番組表のうち、上記スクロール手段がスクロールを停止した時点で上記チャンネル表示制御手段が上記サークルの最も前面にあるように視認される位置に表示していたチャンネル情報に対応するチャンネルの部分を表示することを特徴とする請求項 13 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項16] 上記スクロール手段がスクロール中に上記時刻表示制御手段が表示する時刻表示と対応させて、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を上記表示部に表示する予約識別情報表示手段を備えていることを特徴とする請求項 1 ～ 15 のいずれか 1 項に記載の電子番組表表示装置。

[請求項17] 上記時刻表示制御手段がアナログ形式で時刻を表示する場合に、該アナログ形式の時刻表示が、番組の視聴または録画の予約時間帯を示すとき、上記アナログ形式の時刻表示の針部の色を変更する予約識別情報表示手段を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項18] 上記時刻表示制御手段がアナログ形式で時刻を表示する場合に、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を、上記アナログ形式の時刻表示における対応する時間帯の外周部または内部領域に表示する予約識別情報表示手段を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項19] 上記時刻表示制御手段がアナログ形式で時刻を表示する場合に、該アナログ形式の時刻表示の外周部に、年輪状となるように複数の輪を設け、現在時刻から 12 時までを当該輪の最も内側の輪に割り当てるとともに、該 12 時以降、12 時間ごとに 1 つずつ外側の輪を割り当

て、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を、上記輪における対応する位置に表示する予約識別情報表示手段を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項20] 上記時刻表示制御手段が上記カレンダーを表示する場合に、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を、上記カレンダーにおける日付領域上の対応する位置に表示する予約識別情報表示手段を備えていることを特徴とする請求項 1 2 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項21] 上記時刻表示制御手段が上記スライドバーを表示する場合に、番組の視聴または録画の予約時間帯を識別可能な予約識別情報を、上記スライドバーにおける日付領域上の対応する位置に表示する予約識別情報表示手段を備えていることを特徴とする請求項 1 1 に記載の電子番組表表示装置。

[請求項22] 請求項 1 ～ 2 1 のいずれか 1 項に記載の電子番組表表示装置を含むテレビジョン受像機。

[請求項23] 請求項 1 ～ 2 1 のいずれか 1 項に記載の電子番組表表示装置を動作させる電子番組表表示装置制御プログラムであって、コンピュータを上記の各手段として機能させるための電子番組表表示装置制御プログラム。

[請求項24] 請求項 2 3 に記載の電子番組表表示装置制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[請求項25] 一方の軸を時間軸とし、他方の軸をチャンネル番号軸としてマトリックス表示された電子番組表を表示する電子番組表表示装置の制御方法であって、

 上記電子番組表を時間軸方向にスクロールする指示を受け付けるスクロール受付ステップと、

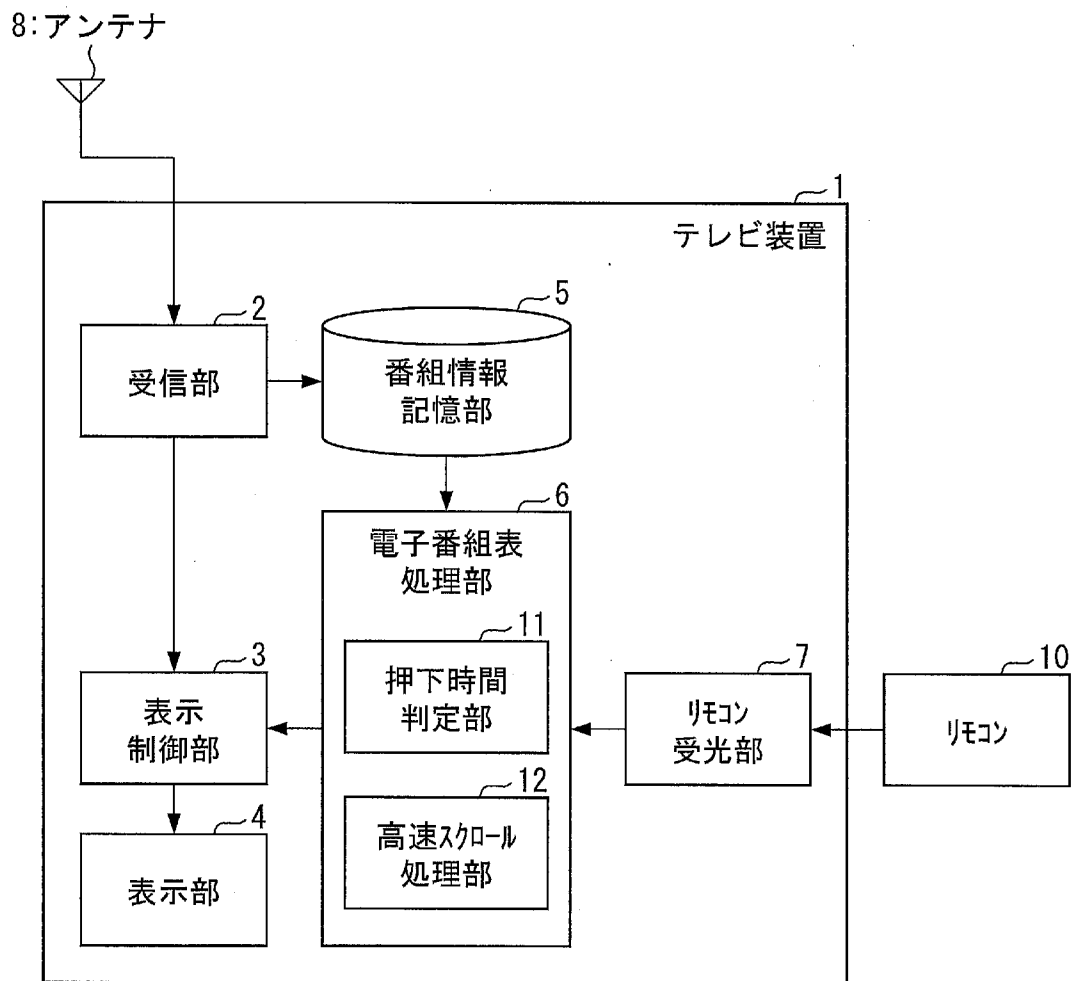
 上記スクロール受付ステップでスクロールする指示を受け付けている間、電子番組表を時間軸方向にスクロールするスクロールステップ

と、

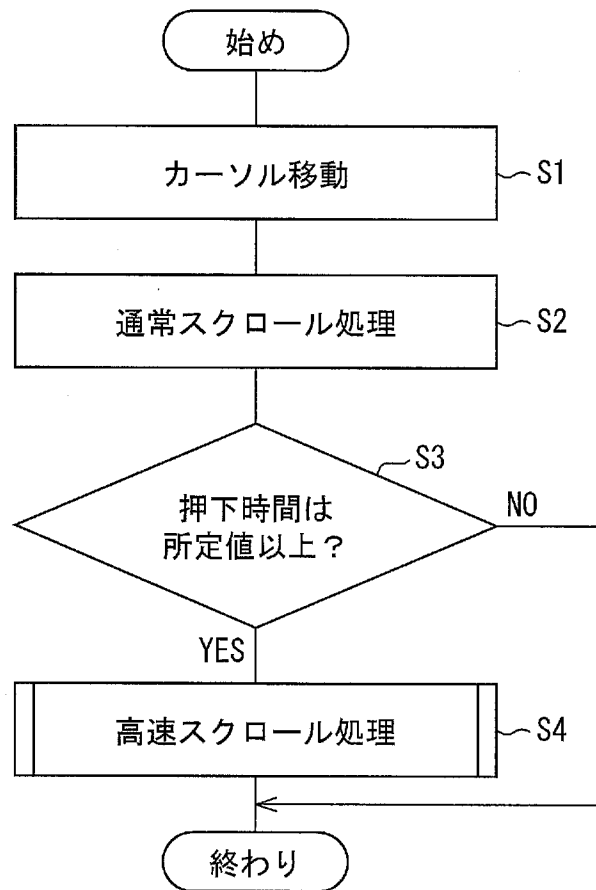
上記スクロールステップで上記電子番組表のスクロールを開始した後、時刻を表示部に表示する時刻表示制御ステップと、

上記スクロールステップでスクロールを停止した後、上記電子番組表のうち、上記スクロールステップでスクロールを停止した時点で上記時刻表示制御ステップで表示していた時刻に対応する部分を表示する電子番組表表示制御ステップと、を含むことを特徴とする電子番組表表示装置の制御方法。

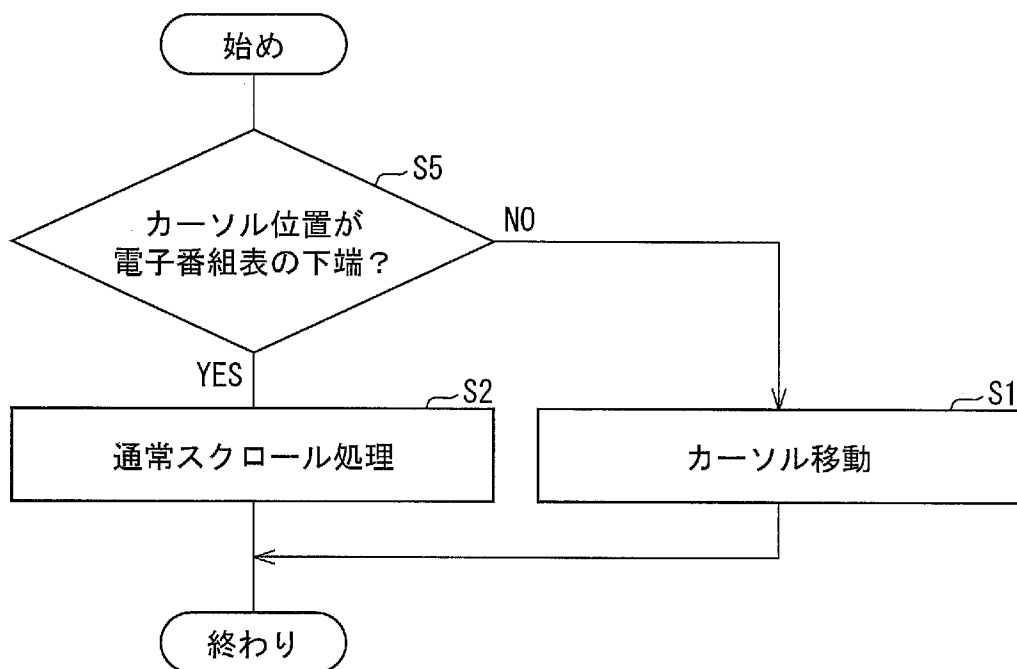
[図1]



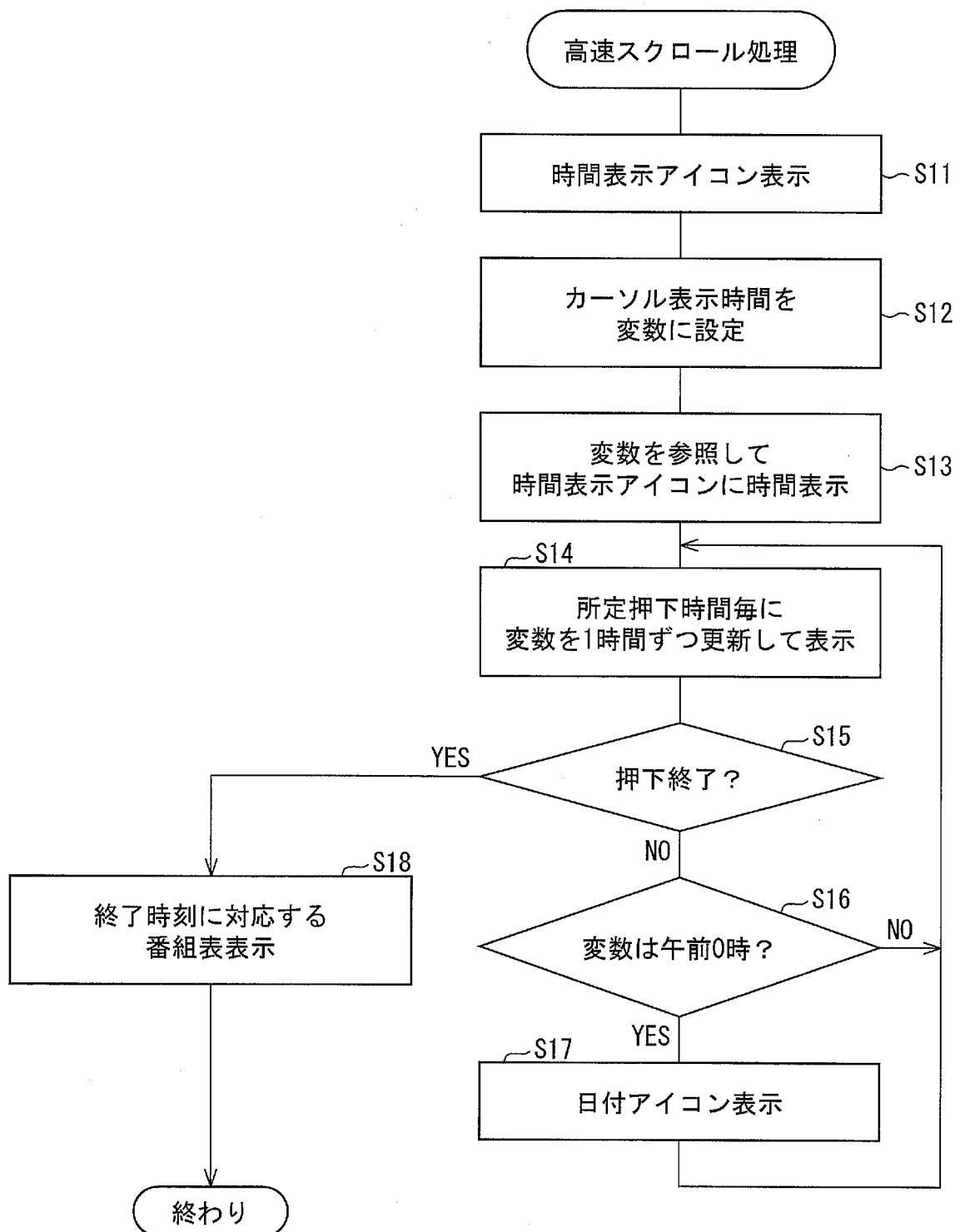
[図2]



[図3]



[図4]



[図5]

401

41

テレビ		地A		地D		BS		CS		表示モード		検索		番組表		縮尺		小		中		大		4/26(月)		PM2:03				
**		○○○○		■■■■		△△△△		●●●●		10		□□□□		▲▲▲▲		××××		▽												
6		103 7		103 1		103 2		181				103 7		103 1		103 2														
PM 1		00 ** *		00 × × ×		00 ▼ ▼ ▼ ▼						00 * * *		00 × × ×		00 ▼ ▼ ▼ ▼		PM 1												
PM 2		00 ○ ○ ○ ○		00 □ □ □ □		00 ▼ ▼ ▼ ▼		00 * * * * *				00 ○ ○ ○ ○		00 □ □ □ □		00 ▼ ▼ ▼ ▼		PM 2												
25		45 ▼ ▼ ▼ ▼		30 ▼ ▼ ▼ ▼		45 ▲ ▲ ▲ ▲						45 ▼ ▼ ▼ ▼		30 ▼ ▼ ▼ ▼		45 ▲ ▲ ▲ ▲														
26		55 ▲ ▲ ▲ ▲		55 ▲ ▲ ▲ ▲								55 ▲ ▲ ▲ ▲		55 ▲ ▲ ▲ ▲																
27		00 ■ ■ ■ ■		00 × × ×		00 ▼ ▼ ▼ ▼		00 * * * * *				00 ■ ■ ■ ■		00 × × ×		00 ▼ ▼ ▼ ▼		PM 3												
28		55 ▲ ▲ ▲ ▲		55 ▲ ▲ ▲ ▲								55 ▲ ▲ ▲ ▲		55 ▲ ▲ ▲ ▲																
29		00 □ □ □ □		00 × × ×		00 ▼ ▼ ▼ ▼		00 * * * * *				00 □ □ □ □		00 × × ×		00 ▼ ▼ ▼ ▼		PM 4												
30		30 * * * *		30 * * * *		30 * * * *						30 * * * *		30 * * * *		30 * * * *														
31		00 ○ ○ ○ ○		00 ● ● ● ●		00 ▼ ▼ ▼ ▼		00 * * * * *				00 ○ ○ ○ ○		00 ● ● ● ●		00 ▼ ▼ ▼ ▼		PM 5												
		55 ▲ ▲ ▲ ▲		00 × × ×		00 ▲ ▲ ▲ ▲		00 * * * *				55 ▲ ▲ ▲ ▲		00 × × ×		00 ▲ ▲ ▲ ▲		PM 6												
◀▶ で選択 選局は 決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了 番組情報を見る で日時検索 予約リスト																		アイコン解説 ?												

[図6]

51

501

テレビ		地A	地D	BS	CS	表示モード		検索	番組表		縮尺		小	中	大	4/26(月) PM2:03	
**		○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	181	10	□□□□	▲▲▲▲	××××	▽						
6		103 7	103 1	103 2	103 1	103 2	103 1	103 7	103 1	103 2	PM 1						
PM 1		00 ** *	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 * * *	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 1						
PM 2		00 ○ ○ ○ ○	00 □ □ □ □	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ○ ○ ○ ○	00 □ □ □ □	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 2						
25		45 ▼ ▼ ▼ ▼	30 ▼ ▼ ▼ ▼	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▼ ▼ ▼ ▼	30 ▼ ▼ ▼ ▼	45 ▲ ▲ ▲ ▲							
26		55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲							
27		00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 3						
28		00 ▼ ▼ ▼ ▼	55 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	55 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▼ ▼ ▼ ▼							
29		00 □ □ □ □	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 □ □ □ □	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 4						
30		00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼							
31		00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 5						
		00 ○ ○ ○ ○	00 ● ● ● ●	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ○ ○ ○ ○	00 ● ● ● ●	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 6						
		00 □ □ □ □	00 × × ×	00 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▲ ▲ ▲ ▲	00 □ □ □ □	00 × × ×	00 ▲ ▲ ▲ ▲							
		55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	30 * * *	30 * * *	30 * * *	30 * * *	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	30 * * *							
◀▶ で選択 選局は 決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了 番組情報を見る で日時検索 で予約リスト アイコン解説																	

[図7]

601

テレビ		地A	地D	BS	CS	表示モード		検索	番組表		縮尺		小	中	大	4/26(月) PM2:03	
**		○○○○	■■■	△△△△	●●●●	181	10	□□□□	▲▲▲	××××	▽						
6		103 7	103 1	103 2	103 1	103 7	103 2	103 7	103 1	103 2	PM 1						
	PM 1	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ***	00 ▼▼▼	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 1						
	PM 2	00 ○○○	00 □□□□	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ○○○	00 ▼▼▼	00 ○○○	00 □□□□	00 ▼▼▼	PM 2						
25		45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▲▲▲	45 ▲▲▲	45 ▼▼▼	45 ▲▲▲	45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▲▲▲							
26		55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲							
27	PM 3	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 3						
28		55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲							
29		00 □□□	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 □□□	00 ▼▼▼	00 □□□	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 4						
30	PM 4	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼							
31		30 ***	30 ***	30 ***	30 ***	30 ***	30 ***	30 ***	30 ***	30 ***							
	PM 5	00 ○○○	00 ●●●	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ○○○	00 ▼▼▼	00 ○○○	00 ●●●	00 ▼▼▼	PM 5						
		00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼							
	PM 6	00 □□□	00 ×××	00 ▲▲▲	00 ▲▲▲	00 □□□	00 ▲▲▲	00 □□□	00 ×××	00 ▲▲▲	PM 6						
		55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲							
◀▶ で選択 選局は 決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了 61																	
■■■ で番組情報を見る ■■■ でジャンル検索 ■■■ で日時検索 ■■■ で予約リスト ? アイコン解説																	

[図8]

[illegible]

[図9]

[illegible]

81

801

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

4/26(月)

PM2:03

**	○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	103 181	▲▲▲▲	□□□□	▲▲▲▲	××××	▽
6	103 7	103 1	103 2	103 2	103 181	103 1	103 7	103 1	103 2	
PM 5	00 ** ** *	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 × × ×	00 ** ** *	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	PM 5
PM 6	00 ○ ○ ○ ○	00 □ □ □ □ □	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 □ □ □ □ □	00 ○ ○ ○ ○	00 □ □ □ □ □	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	PM 6
25	45 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	30 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	45 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	45 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	45 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	45 ▲ ▲ ▲ ▲	
26	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	
27	00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 × × ×	00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	PM 7
28	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	
29	00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 □ □ □ □	00 □ □ □ □	00 □ □ □ □	00 × × ×	00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 □ □ □ □	PM 8
30	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	
31	00 ○ ○ ○ ○	00 ● ● ● ●	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	00 ● ● ● ●	00 ○ ○ ○ ○	00 ● ● ● ●	00 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	PM 9
PM 9	00 □ □ □ □	00 × × ×	00 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▲ ▲ ▲ ▲	00 ▲ ▲ ▲ ▲	00 × × ×	00 □ □ □ □	00 × × ×	00 ▲ ▲ ▲ ▲	PM 10
PM 10	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	30 ** ** *	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	30 ** ** *	

で選択

選局は

決定

を押す

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

で番組情報を見る

でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

アイコン解説

[図11]

901

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

4/26(月)

PM2:03

**	○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	10	□□□□	▲▲▲▲	××××	▽
6	103 7	103 1	103 2	181		103 7	103 1	103 2	
PM 2	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼			00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 2
PM 3	00 ○○○	00 □□□	00 ▼▼▼	00 *****		00 ○○○	00 □□□	00 ▼▼▼	PM 3
PM 4	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 *****		00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 4
PM 5	00 ■■■	00 ×××	00 □□□	00 *****		00 ■■■	00 □□□	00 ▼▼▼	PM 5
PM 6	00 ○○○	00 ●●●	00 ▼▼▼	00 *****		00 ○○○	00 ●●●	00 ▼▼▼	PM 6
PM 7	00 □□□	00 ×××	00 ▲▲▲	00 *****		00 □□□	00 ×××	00 ▲▲▲	PM 7

決定

選択

選局は

番組情報を見る

で番組情報を見る

でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

で終了

アイコン解説

[図12]

101

1001

テレビ	地A	地D	BS	CS	表示モード	検索	番組表	縮尺	小	中	大	4/26(月)	PM2:03
**	○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	181	10	□□□□	▲▲▲▲	××××	▽			
6	103 7	103 1	103 2	103 1	103 7	103 1	103 7	103 1	103 2	PM 11			
PM 11	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▲▲▲	00 ***	00 ×××	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 11			
PM 12	00 ○○○	00 □□□	00 ▼▼▼	00 ▲▲▲	00 ○○○	00 □□□	00 ○○○	00 □□□	00 ▼▼▼	PM 12			
25	45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	30 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▼▼▼	PM 12			
26	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	PM 12			
27	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▲▲▲	00 ■■■	00 ×××	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	AM 1			
28	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	AM 1			
29	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▲▲▲	00 ■■■	00 ×××	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	AM 2			
30	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	AM 2			
31	00 ○○○	00 □□□	00 ▼▼▼	00 ▲▲▲	00 ○○○	00 □□□	00 ○○○	00 □□□	00 ▼▼▼	AM 3			
	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	AM 3			
	00 □□□	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▲▲▲	00 □□□	00 ×××	00 □□□	00 ×××	00 ▼▼▼	AM 4			
	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	55 ▲▲▲	AM 4			

決定で詳細/予約へ

決定で常連番組を表示

通常番組

番組表

で終了

で番組情報を見る

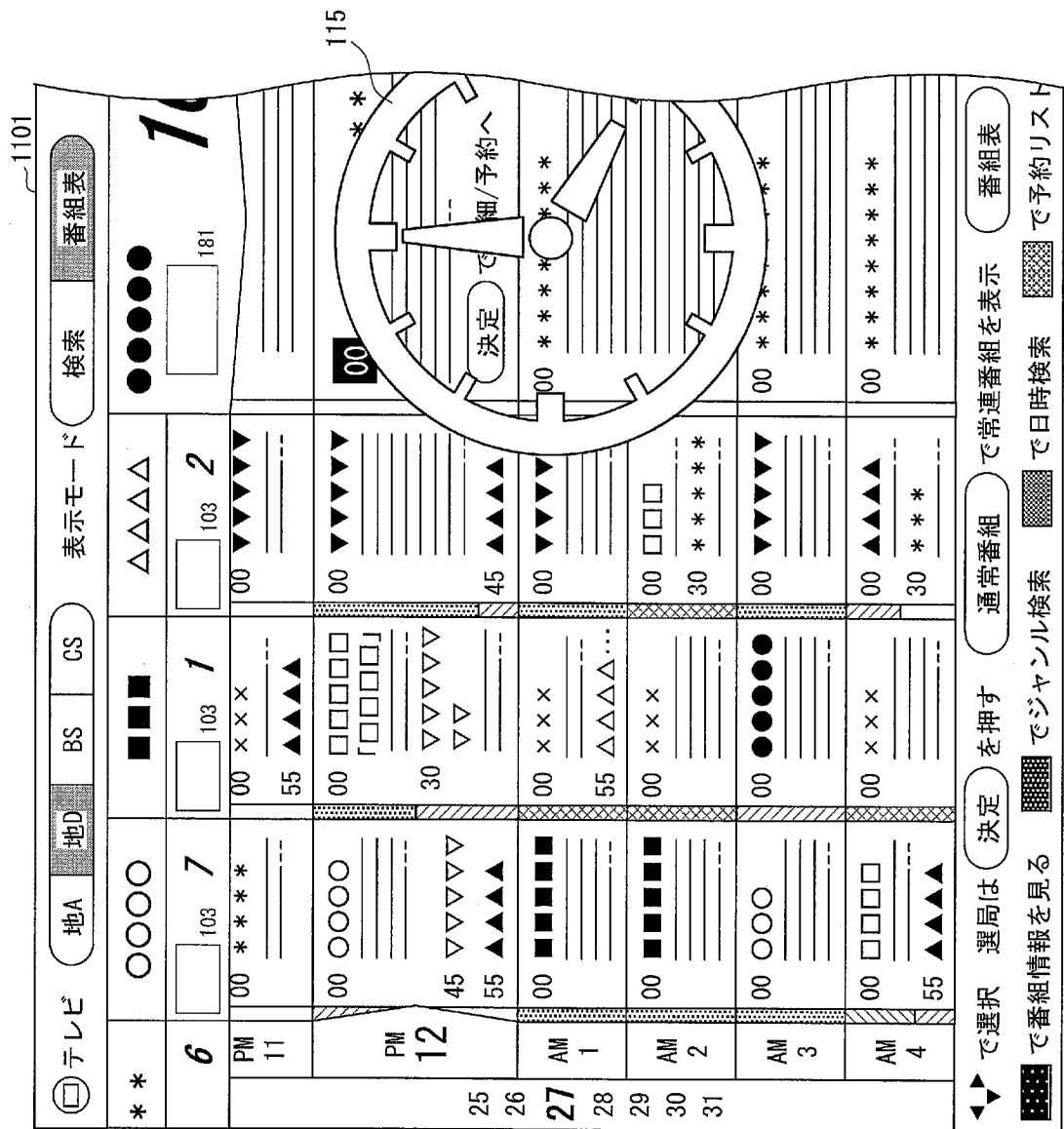
でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

アイコン解説

[図13]



[図14]

26
27
28
29
30
31
1201

*	○○○○	■■■	△△△△	●●●●	10	□□□□	▲▲▲	××××	▽
6	103 7	103 1	103 2	181		103 7	103 1	103 2	
PM 1	00 *****	00 ×××	00 ▼▼▼▼			00 *****	00 ×××	00 ▼▼▼▼	PM 1
		55 ▲▲▲					55 ▲▲▲		
PM 2	00 ○○○○	00 □□□□	00 ▼▼▼▼			00 ○○○○	00 □□□□	00 ▼▼▼▼	PM 2
	45 ▼▼▼▼	30 ▼▼▼▼	45 ▲▲▲			45 ▼▼▼▼	30 ▼▼▼▼	45 ▲▲▲	
	55 ▲▲▲					55 ▲▲▲			
PM 3	00 ■■■■	00 ×××	00 ▼▼▼▼			00 ■■■■	00 ×××	00 ▼▼▼▼	PM 3
		55 ▲▲▲					55 ▲▲▲		
PM 4	00 ■■■■	00 ×××	00 □□□			00 ■■■■	00 ×××	00 □□□	PM 4
			30 *****					30 *****	
PM 5	00 ○○○○	00 ●●●●	00 ▼▼▼▼			00 ○○○○	00 ●●●●	00 ▼▼▼▼	PM 5
PM 6	00 □□□□	00 ×××	00 ▲▲▲			00 □□□□	00 ×××	00 ▲▲▲	PM 6
	55 ▲▲▲		30 *****			55 ▲▲▲		30 *****	

決定

細/予約

決定を押す
 通常番組

で常連番組を表示
 番組表

で終了
 アイコン解説

[図15]

151
1501

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

4/26(月) PM2:03

6

○○○○

7

■■■■

1

△△△△

2

●●●●

181

□□□□

7

××××

103

▽

103

10

PM 5

PM 6

PM 5

PM 6

PM 7

PM 8

PM 9

PM 10

25

26

27

28

29

30

31

PM 5

PM 6

PM 7

PM 8

PM 9

PM 10

◀▶ で選択

選局は 決定 を押す

通常番組 で常連番組を表示

番組表 で終了

で番組情報を見る

でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

アイコン解説 ?

[図16]

1611

1601

4/26(月)

PM2:03

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

**	○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	□□□□	▲▲▲▲	××××	▽
6	103 7	103 1	103 2	181	103 7	103 1	103 2	
PM 2	00 ** ** *	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼		00 * * * *	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 2
PM 3	00 ○ ○ ○ ○	00 □ □ □ □	00 ▼ ▼ ▼ ▼		00 ○ ○ ○ ○	00 □ □ □ □	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 3
24	45 ▼ ▼ ▼ ▼	30 ▼ ▼ ▼ ▼	30 ▼ ▼ ▼ ▼		45 ▼ ▼ ▼ ▼	30 ▼ ▼ ▼ ▼	45 ▼ ▼ ▼ ▼	
25	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲		55 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	45 ▲ ▲ ▲ ▲	
26	00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼		00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 4
27	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲		55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	
28	00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 □ □ □ □		00 ■ ■ ■ ■	00 × × ×	00 □ □ □ □	PM 5
29	00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 ▼ ▼ ▼ ▼	30 * * * *		00 ▼ ▼ ▼ ▼	00 * * * *	00 * * * *	
30	00 ○ ○ ○ ○	00 ● ● ● ●	00 ▼ ▼ ▼ ▼		00 ○ ○ ○ ○	00 ● ● ● ●	00 ▼ ▼ ▼ ▼	PM 6
31	00 □ □ □ □	00 × × ×	00 * * * *		00 □ □ □ □	00 × × ×	00 * * * *	PM 7
	55 ▲ ▲ ▲ ▲	55 ▲ ▲ ▲ ▲	30 * * * *		55 ▲ ▲ ▲ ▲	30 * * * *	30 * * * *	

決定で細/予約へ

午後7:00

1611 1612

1611

1601

[図17]

1711
1701

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

4/26(月) PM2:03

**	○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	□□□□	▲▲▲▲	××××	▽
6	103 7	103 1	103 2	181 10	103 7	103 1	103 2	
PM 2	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 2
PM 3	00 ○○○	00 □□□	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ○○○	00 □□□	00 ▼▼▼	PM 3
24	45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▲▲▲	45 ▼▼▼	45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▲▲▲	
25	55 ▲▲▲	55 ▼▼▼	55 ▲▲▲	55 ▼▼▼	55 ▲▲▲	55 ▼▼▼	55 ▲▲▲	
26	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 4
27	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	
28	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 5
29	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	
30	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 6
31	00 ○○○	00 ●●●	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ○○○	00 ●●●	00 ▼▼▼	
PM 6	00 ○○○	00 ●●●	00 ▼▼▼	00 ▼▼▼	00 ○○○	00 ●●●	00 ▼▼▼	PM 6
PM 7	00 □□□	00 ×××	00 ▲▲▲	00 ▼▼▼	00 □□□	00 ×××	00 ▲▲▲	PM 7
	55 ▲▲▲	00 ×××	30 ***	00 ▼▼▼	55 ▲▲▲	00 ×××	30 ***	

決定で
細/予約へ

2010年4月26日(月)
午後7:00

決定

選局は

で選択

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

1712

で番組情報を見る

でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

アイコン解説 ?

[図18]

1812 1811 1801

テレビ 地A 地D BS CS 表示モード 検索 番組表 縮尺 小 中 大 4/26(月) PM2:03

番組表	検索	番組表	縮尺	小	中	大	4/26(月) PM2:03
**	0000	■■■	△△△△	●●●●	▲▲▲	××××	▽
6	103 7	103 1	103 2	103 7	103 1	103 2	
PM 2	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ***	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 2
PM 3	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	PM 3
24	45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▲▲▲	45 ▼▼▼	30 ▼▼▼	45 ▲▲▲	
25	55 ▲▲▲	45 ▲▲▲	00 ▼▼▼	55 ▲▲▲	45 ▲▲▲	00 ▼▼▼	
26	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	00 ■■■	00 ×××	00 ▼▼▼	PM 4
27	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	
28	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	
29	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	PM 5
30	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	
31	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	PM 6
	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	00 0000	00 0000	00 ▼▼▼	PM 7

10

00

決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了
 番組情報を見る でジャンル検索 で日時検索 で予約リスト アイコン解説 ?

[図19]

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

4/26(月)

PM2:03

1911

1901

		〇〇〇〇	■■■	△△△△	●●●●	10	□□□□	▲▲▲	××××	▽
**	6	103 7	103 1	103 2	181		103 7	103 1	103 2	
AM	8	00 ** ** *	00 × × ×	00 ▼▼▼▼			00 ** ** *	00 × × ×	00 ▼▼▼▼	PM 2
AM	9	00 〇〇〇〇	00 □□□□ 「□□□□」	00 ▼▼▼▼			00 〇〇〇〇	00 □□□□ 「□□□□」	00 ▼▼▼▼	PM 3
24		45 ▼▼▼▼	30 ▼▼▼▼				45 ▼▼▼▼	30 ▼▼▼▼		
25		55 ▲▲▲▲		45 ▲▲▲▲			55 ▲▲▲▲		45 ▲▲▲▲	
26	AM 10	00 ■■■■	00 × × ×	00 ▼▼▼▼			00 ■■■■	00 × × ×	00 ▼▼▼▼	PM 4
27			55 △△△△					55 △△△△		
28										
29	AM 11	00 ■■■■	00 × × ×	00 □□□□			00 ■■■■	00 × × ×	00 □□□□	PM 5
30				30 * * * * *					30 * * * * *	
31										
	AM 12	00 〇〇〇	00 ●●●●	00 ▼▼▼▼			00 〇〇〇	00 ●●●●	00 ▼▼▼▼	PM 6
	PM 1	00 □□□□	00 × × ×	00 ▲▲▲▲			00 □□□□	00 × × ×	00 ▲▲▲▲	PM 7
		55 ▲▲▲▲		30 * * *			55 ▲▲▲▲		30 * * *	

決定

予約へ

決定

で選択

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

決定

で番組情報を見る

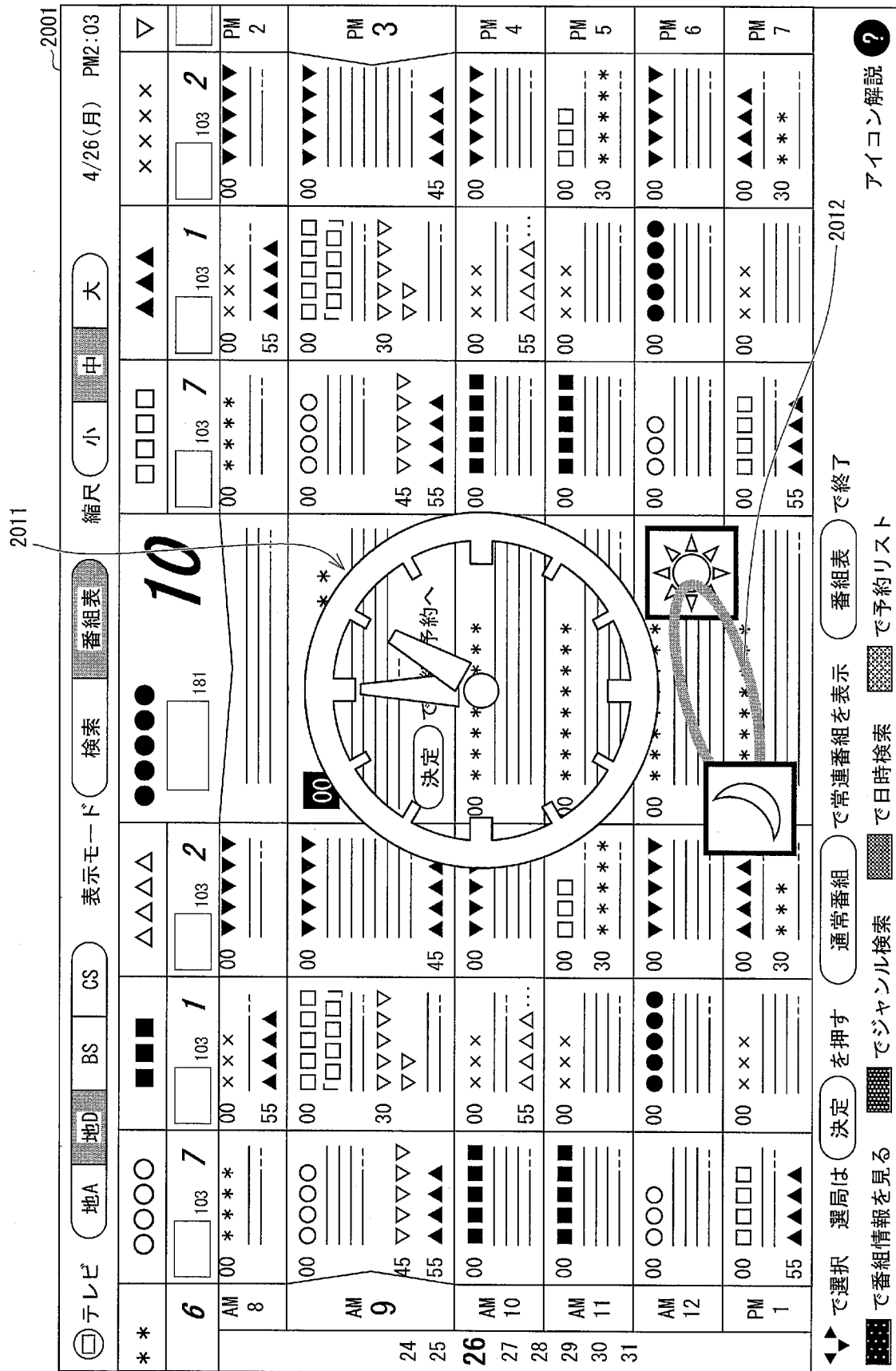
でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

アイコン解説

[図20]



[図21]

2111 2101

テレビ 地A 地D BS CS 表示モード 検索 番組表 縮尺 小 中 大 4/26(月) PM2:03

**	○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	10	□□□□	▲▲▲▲	××××	▽
6	103 7	103 1	103 2	181		103 7	103 1	103 2	

PM 2 PM 3 PM 4 PM 5 PM 6 PM 7

24 25 26 27 28 29 30 31

24 25 26 27 28 29 30 31

2112

PM 2 PM 3 PM 4 PM 5 PM 6 PM 7

決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了
 で番組情報を見る でジャンル検索 で日時検索 で予約リスト ?
 アイコン解説

[図22]

2201

2211

テレビ 地A 地D BS CS

表示モード 検索

番組表

縮尺 小 中 大

4/26(月) PM2:03

10

181

●●●●

103 7 103 1 103 2

▽

PM 5

PM 6

PM 7

PM 8

PM 9

PM 10

24 25 26 27 28 29 30 31

2212

2213

PM 5

PM 6

PM 7

PM 8

PM 9

PM 10

◀▶ で選択 選局は 決定 を押す

通常番組 で常連番組を表示

でジャンル検索

でジャンル検索

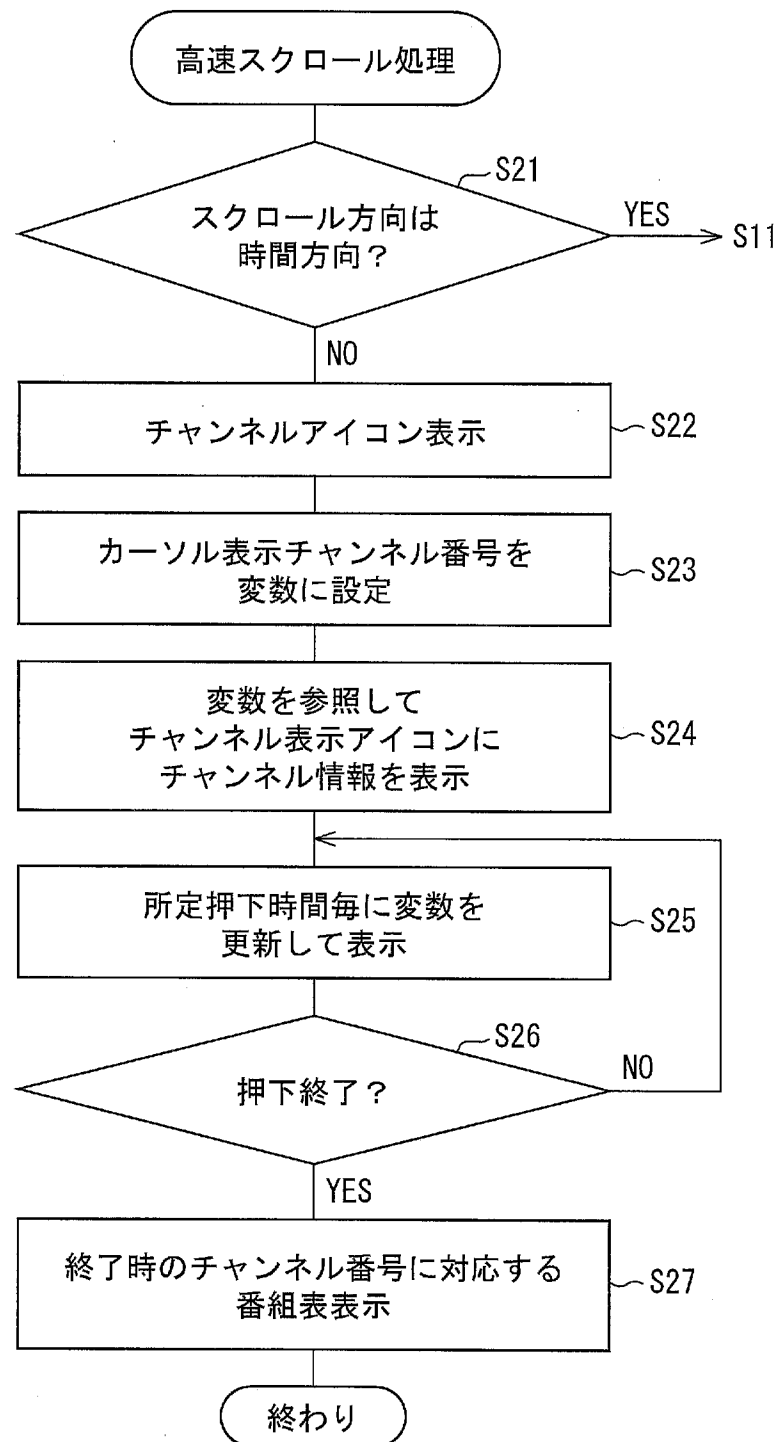
で日時検索

で予約リスト

番組表 で終了

アイコン解説 ?

[図23]



[図24]

2401

2411

テレビ (地A 地D BS CS)		表示モード		検索		番組表		縮尺 (小 中 大)		4/26(月) PM2:03		
**	6	0000	7	103	1	00	00	00	00	00	00	
PM 1	PM 1	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
PM 2	PM 2	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
PM 3	PM 3	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
PM 4	PM 4	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
PM 5	PM 5	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
PM 6	PM 6	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
24	25	26	27	28	29	30	31					
決定 で詳細/予約へ												アイコン解説

◀▶ で選択 選局は 決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了
 番組情報を見る でジャンル検索 で日時検索 で予約リスト

[図25]

[illegible]

2601

テレビ		地A	地D	BS	CS	表示モード		検索	番組表		縮尺		小	中	大	4/26(月) PM2:03	
**	**	0000	■■■■	△△△△	1	■■■■	103	1	△△△△	△△△△	△△△△	△△△△	△△△△	△△△△	△△△△	△△△△	
6	PM 1	00 103 7	00 103 1	00 103 2	00 103 1	00 103 2	00 103 1	00 103 2	00 103 1	00 103 2	00 103 1	00 103 2	00 103 1	00 103 2	00 103 1	00 103 2	
24	PM 2	00 45 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	00 30 55	
25	PM 3	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	00 27 28	
26	PM 4	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	00 29 30 31	
27	PM 5	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	00 32 33	
28	PM 6	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	00 34 35	

▶▶▶ で選択 選局は 決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了

▶▶▶ で番組情報を見る でジャンル検索 で日時検索 で予約リスト アイコン解説 ?

[図27]

2711

2712

2701

テレビ		地A		地D		BS		CS		表示モード		検索		番組表		縮尺		小		中		大		4/26(月) PM2:03						
**	6	○○○○	7	103	■■■■	1	103	△△△△	2	103	●●●●	181	10	□□□□	7	103	▲▲▲▲	1	103	××××	2	103	▽	2712	PM 5	PM 6	PM 7	PM 8	PM 9	PM 10
24	25	26	27	28	29	30	31	ロゴ 地上デジタル (2) 103 × × × × テレビ										PM 5	PM 6	PM 7	PM 8	PM 9	PM 10							

◀▶ で選択

決定

を押す

選局は

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

で番組情報を見る

でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

アイコン解説

?

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

4/26(月)

PM2:03

**

6

○○○○

■■■■

△△△△

●●●●

103

7

103

1

103

2

PM 5

PM 6

PM 7

PM 8

PM 9

PM 10

24

25

26

27

28

29

30

31

PM 5

PM 6

PM 7

PM 8

PM 9

PM 10

決定

を押す

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

で番組情報を見る

でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

?

アイコン解説

[図29]

2901

テレビ		地A	地D	BS	CS	表示モード		検索	番組表		縮尺		4/26(月) PM2:03	
											小	中	大	
**	○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	10		□□□□	▲▲▲▲	××××	▽				
6	103 7	103 1	103 2	181			103 7	103 1	103 2					
PM 5	2911													
PM 6	2/4 (7) 103 ○○○○テレビ													
PM 7	26													
PM 8	24 25 26 27 28 29 30 31													
PM 9	ロゴ													
PM 10	ロゴ													

◀▶ で選択 選局は (決定) を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了
 番組情報を見る でジャンル検索 で日時検索 で予約リスト ? アイコン解説

[図30]

3001

☒ テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

4/26(月) PM2:03

**

○○○○

■■■■

△△△△

●●●●

10

103

7

1

2

103

7

1

2

PM 5

PM 6

PM 7

PM 8

PM 9

PM 10

24

25

26

27

28

29

30

31

3012

3011

3013

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

2/4

(7)

103

○○○○

テレビ

◀▶ で選択

選局は

決定

 を押す

通常番組

で常連番組を表示

番組表

 で終了

番組情報を見る

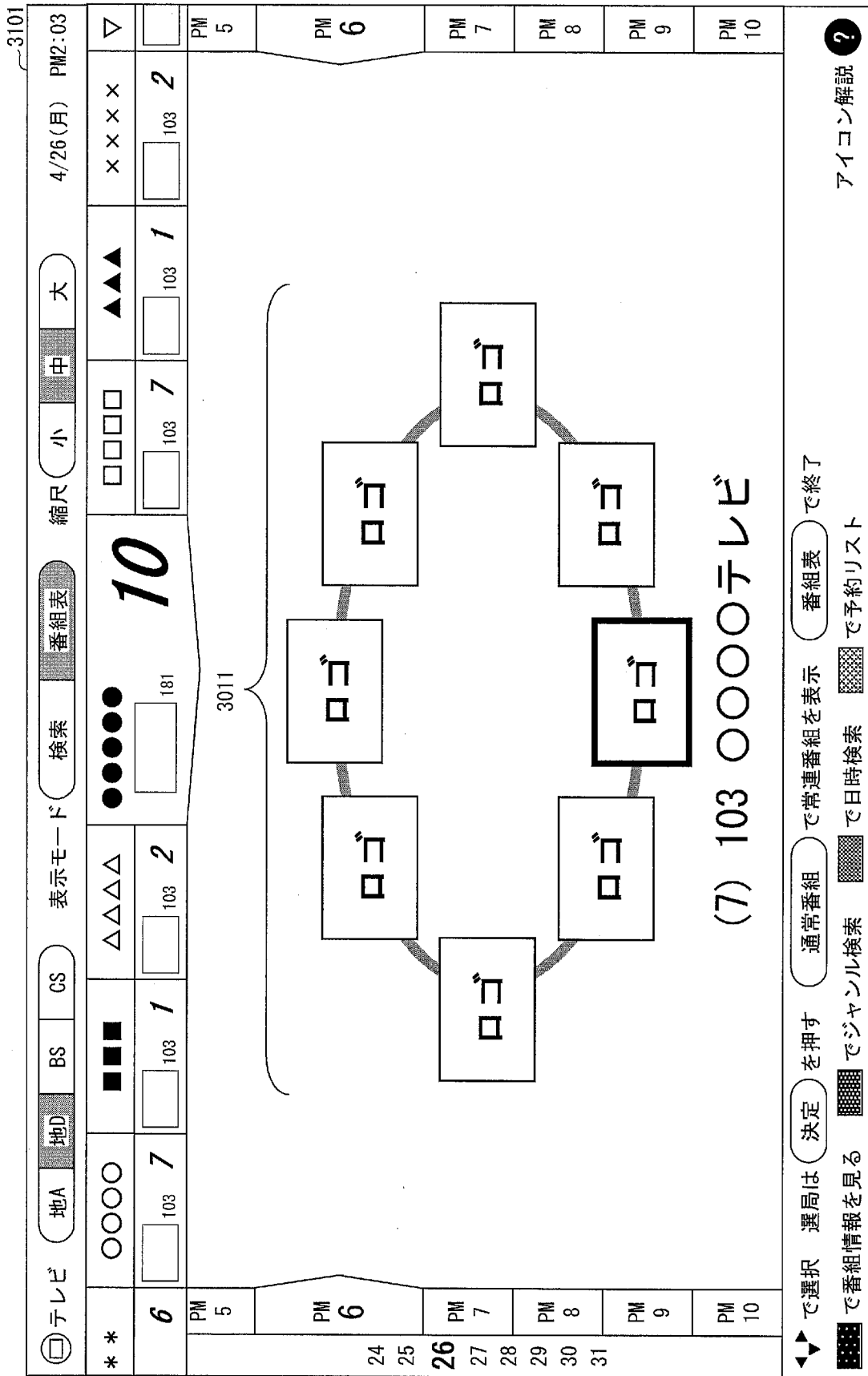
でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

?
 アイコン解説

[図31]



[図32]

3201

4/26(月) PM2:03

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

**

6

○○○○

7

103

■■■■

1

103

△△△△

2

103

●●●●

181

□□□□

7

103

▲▲▲▲

1

103

××××

2

103

▽

PM

5

PM

6

PM

7

PM

8

PM

9

PM

10

24

25

26

27

28

29

30

31

3211

10

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

(7) 103 ○○○○テレビ

決定

を押す

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

? アイコン解説

決定

を押す

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

? アイコン解説

決定

を押す

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

? アイコン解説

[図33]

3301

テレビ		地A		地D		BS		CS		表示モード		検索		番組表		縮尺		小		中		大		4/26(月)		PM2:03	
**		○○○○		■■■■		△△△△		●●●●		10		□□□□		▲▲▲▲		××××											
6		103 7		103 1		103 2		181		103 7		103 1		103 2													
PM 5		PM 6		PM 7		PM 8		PM 9		PM 10		PM 5		PM 6		PM 7		PM 8		PM 9		PM 10					

3311

(7) 103 ○○○○テレビ

24 25 26 27 28 29 30 31

PM 5 PM 6 PM 7 PM 8 PM 9 PM 10

◀▶ で選択 選局は 決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了
 番組情報を見る でジャンル検索 で日時検索 で予約リスト

アイコン解説 ?

[図36]

3602 3601

テレビ 地A 地D BS CS 表示モード 検索 番組表 縮尺 小 中 大 4/26(月) PM2:03

**	○○○○	■■■■	△△△△	●●●●	□□□□	▲▲▲▲	××××	▽
6	103 7	103 1	103 2	181	103 7	103 1	103 2	

10

3603

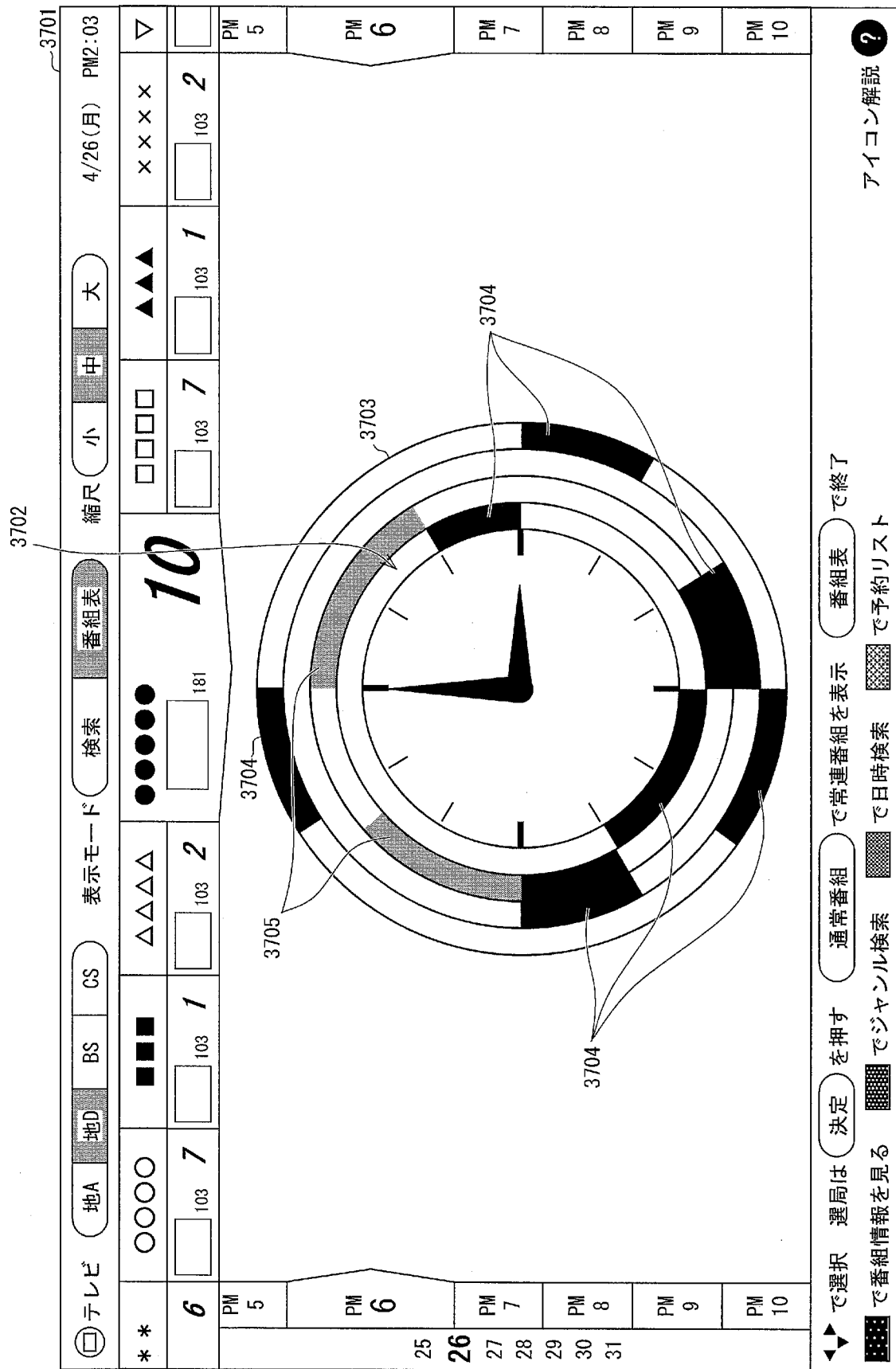
PM 5 PM 6 PM 7 PM 8 PM 9 PM 10

25 26 27 28 29 30 31

◀▶ で選択 選局は 決定 を押す 通常番組 で常連番組を表示 番組表 で終了
 番組情報を見る でジャンル検索 で日時検索 で予約リスト

アイコン解説 ?

[図37]



[図38]

3802

3801

4/26(月) PM2:03

テレビ 地A 地D BS CS 表示モード 検索 番組表 縮尺 小 中 大

6

PM 5

PM 6

PM 7

PM 8

PM 9

PM 10

24 25 26 27 28 29 30 31

10

181

103

1

2

103

1

103

2

103

2

3803

3804

3805

決定

で選択

番組表

で終了

通常番組

で常連番組を表示

で日時検索

でジャンル検索

でジャンル検索

で予約リスト

アイコン解説

3901

3902

テレビ

地A

地D

BS

CS

表示モード

検索

番組表

縮尺

小

中

大

4/26(月)

PM2:03

**

○○○○

■■■

△△△△

●●●●

181

6

103

7

103

1

103

2

103

▽

×

×

×

×

×

×

×

PM 2

PM 3

PM 4

PM 5

PM 6

PM 7

24

25

26

27

28

29

30

31

24

25

26

27

28

29

30

31

PM 2

PM 3

PM 4

PM 5

PM 6

PM 7

決定

選択

選局は

で番組情報を見る

通常番組

で常連番組を表示

番組表

で終了

アイコン解説?

でジャンル検索

で日時検索

で予約リスト

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/080443

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

H04N7/173(2011.01) i, H04N5/445(2011.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

H04N7/173, H04N5/445

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2012
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2012	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2012

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2002-44554 A (Sharp Corp.), 08 February 2002 (08.02.2002), paragraphs [0016] to [0026]; fig. 1 to 2 (Family: none)	1-8, 10-12, 22-25 9, 13-18, 20-21 19
Y	JP 2002-507718 A (HEPP, Volker, PRADELSKI, Joe, D., GLASS, Boris), 12 March 2002 (12.03.2002), fig. 1 & US 6449219 B1 & EP 1025466 A & WO 1999/021064 A1 & DE 19747879 A & DE 298000650 U & DE 298000650 U1 & AU 8972798 A & CA 2306862 A	9



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
14 February, 2012 (14.02.12)

Date of mailing of the international search report
28 February, 2012 (28.02.12)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/080443

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2005-94595 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 07 April 2005 (07.04.2005), paragraphs [0036] to [0039]; fig. 4 (Family: none)	13-15
Y	JP 2005-252970 A (Sharp Corp.), 15 September 2005 (15.09.2005), fig. 17, 20 to 21, 31 to 32 (Family: none)	16-18, 20-21

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C）） Int.Cl. H04N7/173(2011.01)i, H04N5/445(2011.01)i		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C）） Int.Cl. H04N7/173, H04N5/445		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2012年 日本国実用新案登録公報 1996-2012年 日本国登録実用新案公報 1994-2012年		
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 2002-44554 A（シャープ株式会社）2002.02.08, 段落【0016】 - 【0026】，第1-2図（ファミリーなし）	1-8, 10-12, 22 -25
Y		9, 13-18, 20-2 1
A		19
☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 14.02.2012	国際調査報告の発送日 28.02.2012	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁（I S A / J P） 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 月野 洋一郎 電話番号 03-3581-1101 内線 3541	5 C 9472

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2002-507718 A (ヘップ ヴォルカー, プラデルスキイ ジョー ディ, グラス ボリス) 2002.03.12, 第1図 & US 6449219 B1 & EP 1025466 A & WO 1999/021064 A1 & DE 19747879 A & DE 298000650 U & DE 298000650 U1 & AU 8972798 A & CA 2306862 A	9
Y	JP 2005-94595 A (松下電器産業株式会社) 2005.04.07, 段落【0036】 - 【0039】, 第4図 (ファミリーなし)	13-15
Y	JP 2005-252970 A (シャープ株式会社) 2005.09.15, 第17図, 第 20-21図, 第31-32図 (ファミリーなし)	16-18, 20-21